

総合人間学部

Faculty of Integrated Human Studies

■ 総合人間学科

ここに注目

▶ 京都大学でもっとも新しい学部

「総合人間学部」は1992(平成4)年10月1日に法令上設置され、1993年4月に第1期生を迎えた、京都大学でもっとも新しい学部です。2017年に設立25周年を迎えました。そして今、新たな四半世紀の道を歩み始めています。

▶ 新たな「人間の学」の創出

文理にまたがる多様な教養・基礎科目、複数の学系の入門科目、複数の外国語科目等を幅広く学ぶことを通して、人間・文明・自然に対する幅広い知識と理解力を身につけます。そのため、主専攻・副専攻という制度を取り入れており、自らの学問的関心に応じて選択した主専攻を系統的に学ぶだけでなく、主専攻とは異なる学問分野を副専攻として学び、自らの専門分野にとらわれない柔軟で重層的な思考力を養います。さらに卒業論文・卒業研究への取り組みを通して専門性を深めるとともに、現代の諸問題の解決に挑戦する創造的姿勢と持続力を育みます。

▶ 知的コミュニケーション能力の涵養

ゼミ・演習等の少人数科目を履修し、教養・基礎から専門の領域にわたる知識と能力を濃密な議論のなかで培うとともに、他者に自らの見解を表現するためのプレゼンテーション能力および対話能力を身につけます。

▶ 既存科学の枠を超えた総合的な学問の場

総合人間学部では専門分野の細分化を避けるために1学部1学科制とし、「総合人間学科」に人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系の5学系を設けています。ただし入学当初1年間は学系に属さず、幅広い分野を自由に学修し、2年次から主専攻とする学系で学びます。

総合人間学部の特徴

1 かつてない人材を育む5つの学系

総合人間学部が設ける5つの学系、人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系、それぞれに教育・研究の目的や学修対象はありますが、共通しているのは〈かつて存在しなかった新しいタイプの人材〉を養成することです。これを前提に5学系がダイナミックかつ有機的に連携した教育と研究を展開、人間そのものと人間をとりまく世界について、文理の枠組みをこえて総合的に学ぶことができる環境を整えています。

※各学系の詳細は後のページを参照。

2 文理を超越する2年次での専攻選択

入試制度などが定める〈文系・理系〉の枠組みを超越しているのも総合人間学部の特色であり、入学後1年間は幅広い学問分野にふれながら自身の興味・関心を探り、主専攻となる学系を見定めていきます。そうした1年を経ての2年次進級に際し、人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系、いずれかの学系を選んで所属し、3年次後半からの卒業研究や大学院 人間・環境学研究科への進学を視野に入れつつ学修を進めます。

3 教養と専門性を統合する4年間一貫教育

総合人間学部では4年間を通じ、柔軟で幅広い視野を備えた知性を育む全学共通科目と5学系それぞれの専門科目を有機的に連結させたカリキュラムを編成し、教養と専門性の統合をはかっています。また、専門科目については、事実上、総合人間学部の大学院である人間・環境学研究科の教員が主として指導を担当し、高度かつ先進的な学びを提供しています。あわせて教員アドバイザー制度を設け、履修に関する指導や学生生活についての相談などに応じています。

4 幅広い視野と創造性を育む副専攻制度

総合人間学部では、各自が所属する学系の専門分野ではない特定他分野を系統的に履修する副専攻制度を設けています。その目的は幅広い視野と豊かな創造性をもつ人材の育成にあり、学系で培う高度な専門性に、他分野の深い知識と素養を身につけることをめざします。副専攻の履修については、指導教員との相談に基づき各自で選択します。なお、副専攻の修了に際しては、学士の学位記とあわせて、副専攻名を記した認定書が授与されます。

5 大学院 人間・環境学研究科への接続

総合人間学部の学びは大学院 人間・環境学研究科に直結しており、例年4割近くの学生が進学します(本学の他研究科や他大学の大学院への進学も可能です)。人間・環境学研究科には共生人間学専攻、共生文明学専攻、相関環境学専攻という文理統合型の3専攻に計14講座が設けられており、それぞれにおいて高度な研究に取り組みます。あわせて大学院の修了後、研究を発展していけるのも京都大学ならではの強みです。

総合人間学部が望む学生像

総合人間学部は、たえず変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。本学部が求めるのは、この基本理念に共鳴し、次の4点の素養をもつ人です。

- ① 「人間の学」の創出という挑戦に積極的に加わりようとする志をもつ人。
- ② 人類が直面する様々な課題に向きあう進取の精神をもつ人。
- ③ 持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人。
- ④ 修得した知識・技術を活用する主体的な思考力・判断力・表現力を備え、他者と協働しながら学ぼうとする姿勢をもつ人。



人間そのものと人間をとりまく世界を
文理を超えて総体的に捉え、
常識にとらわれぬ柔軟な思考で新領域を切り拓く



5学系の紹介

人間科学系

「人間の知」の刷新をめざして

本学系は、人間に関する既存知をふまえて、包括的で根底的な人間理解をめざしています。その方向は3つあり、第1は「思想」研究による人間存在の哲学的・倫理的な解明、ならびに芸術など創造行為の思想的・歴史的な解明です。第2は「社会」研究による人間の形成や社会行動についての実証的・理論的な解明です。第3は「文化」研究による文学や映画などの文化現象に関する歴史的・社会的な解明です。これらは以下の6分野から成り、その有機的な連関により、人間の知を刷新し、新たな総合的な学の構築をめざします。

●人間形成論 ●社会行動論 ●文化社会論 ●人間存在論 ●創造行為論 ●文芸表象論

認知情報学系

人間の多様な創造性を理解する

人間相互や人間と環境の関わりは、脳や身体、言語等をインターフェイスとして行われ、言語は高度認知機能の媒体として多面的に進化しています。それらの背景では、脳内の認知機構と行動制御機構、さらには計算機による情報処理と複雑な数理機構が働いています。これらを前提に本学系では、人間の多様な創造性を深く理解することをめざし、認知科学、行動制御学、身体機能論、情報科学、数理学、言語科学、外国語教育論を総合的に学びます。その過程で理系・文系という枠を超えた幅広い探求能力、人間の認識行動の包括的理解に基づく科学的で柔軟な思考能力を身につけていきます。

●認知・行動科学 ●数理情報論 ●言語科学 ●外国語教育論

国際文明学系

高度で領域横断的な教養を習得する

社会科学や人文科学の諸分野が柔軟性や他領域との連携性を失い、現代社会が直面する深刻な諸問題の解決に対処できなくなっているとの指摘があります。その克服に向けて本学系では、社会科学はもとより、日本・東洋・西洋の歴史と文化をふくむ人文科学の諸分野から選んだテーマに軸足をのこした研究に取り組みつつ、関連する諸学問を領域横断的に学びます。これらを通じ、真の意味での「ユニバーシティ」で学んだ者だけが体得する高度で幅広い教養(リベラル・アーツ)、柔軟な思考に裏付けられた専門知の習得をめざします。

●社会相関論 ●歴史文化社会論

文化環境学系

文明・文化や環境を現場から問いなおす

本学系では、グローバル化が進展する現代にあってその基層をなす世界各地固有の民族性や地域性、人間活動や居住の様相の実態と、将来的な意義を見定める視座の確立を追究します。また、各文明の地域的特性を多角的に比較しながら、文明相互の交流とその文化的所産、さらには文明の自己相対化の諸相を種々の記録によって複眼的な視点から解明します。文明・文化や環境に関して日本人の常識が必ずしも世界の常識ではないことを、文明・文化はたえず交流変化しつつ、その自己同一性は長く保たれるという複雑な存在であることを理解し、その諸問題を研究するうえで、現場で学ぶことの重要性を身につけていきます。

●比較文明論 ●文化・地域環境論

自然科学系

物質・生命・地球・宇宙の統合的理解をめざす

「21世紀は環境の世紀である」と言われます。本学系は、環境を構成する物質や生命、地球、さらには宇宙を支配する基本原理やその間の相互関係を理解することをめざしています。以下の4分野で構成され、それぞれの学問領域がもつ基本的な考え、知識を基礎とし、さらにその壁を超えて新しい領域を模索するために必要な教育と研究が行われています。自然科学の基礎に基づく「自然観」と、他の系での学修から得る「人間観」を組み合わせ、新たな知の創造をめざします。その教育の特徴は、野外や室内で行う観察や実験を通して「事実」と向き合い、その正しい理解と考察を繰り返して行くことが挙げられます。

●物理学 ●化学・物質科学 ●生物科学 ●地球科学



ボッティチェリ『リベラル・アーツに導かれる若者』



MRIを用いた実験風景



アフリカでのフィールドワーク



総合フィールド演習(伊勢湾海底生息生物調査)

来たれ、 学問の世界

発話に表れる思考の道すじ。 当たり前のことばこそ 問いなおす価値がある



総合人間学部／大学院人間・環境学研究所

守田 貴弘 准教授

専門分野：言語学、特に類型論、意味論、ジェスチャー研究

同じ事柄を見ていても、どこに着目し、どのように表現するのかは、言語によって異なります。私の専門である「類型論」は、この違いを探る分野です。たとえば、「部屋に入る・出る」という動作を表現する場合。フランス語では入る・出るに相当する動詞を使いますが、英語ではwalkかrunかを明示し、移動の状態まで表現します。こうした違いが生まれるのは、言語ごとに外界の捉え方や表現の幅が異なるためです。

同じ言語であっても、話す人によって表現の仕方には違いがみられます。言いたいことがきちんと伝わって喜んだり、うまく意図が伝わらずに悩んだ経験は、誰も覚えがあるはず。同じ言語を使っているから、じつはみな「違うことば」を話しているからです。フランス話者に映像を見せ、その内容を説明してもらおうという実験をしました。すると、用いる語句や言及する内容に、被験者のあいだでかなりの差がみられる。「この言い方がぴったりだ」という感覚は、誰もが共有するわけではないのです。言語学の理論にはある程度の普遍性が

求められるため、個人レベルの違いは誤差と見なすことが多いのですが、分析対象にならないからといって、その違いに意味がないとは限りません。私はこうした発話を哲学的な視点から考察しています。

従来の言語学は、文法構造の解析など、言語の範囲内で完結していました。哲学を導入した新しい言語学が通用するのは、多様な学問分野をカバーする総合人間学部なればこそ。専門を絞りきれていない学生にとっても、文系から理系まで幅広く学べる絶好の場所です。中心に据えたい分野も、なんとなく興味のある分野も、積極的に挑戦して自分の道を模索してください。

私たちはごく自然にことばを使いこなしていますが、「先に行ってるね」と「先に行ってるよ」との意味的な違いを聞かれて、明確に答えられる日本語話者はじつは少ないのです。無意識に理解していることをあえて取り上げて理論化することは、ものの見方を覆すことにつながる。当たり前の常識に揺さぶりをかけられるのが、学問の大きな魅力です。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

俳優、組織コンサルタント
2019年3月 総合人間学部 人間科学系卒業

おもしろ総人で、 夢中になれる4年間を

総人の志望動機は「自由」と「安心」です。学問はもちろん、オープンキャンパスや学部会館等も全て学生主体で動かします。履修も自由に組み立てられるので、大学4年間の時間の使い方も自身で設計します。しかし同時に京大という肩書き……この「安心」感が「真の自由」を担保するとも思いました。学部時代は、本当に楽しかったです。面白くてやる時はやる「最高の仲間」ができ、自身も大学内外でやりたいことに「夢中」で打ち込みました。様々な方向に「世界が広がった」からこそ、人生でやりたいことが見つかりました。総人で学んだ「自己選択的に生きること」は、ずっと大切にしています。



下村 風香さん
広島県
広島なぎさ高等学校 出身

在校生

総合人間学部 国際文明学系
4年生

最高の仲間と、 迷い、語り合える4年間

高校時代に文理を決めきれず、いろんな分野をつまみ食いできる総人に。さらに広い世界へと、オーストラリアへの交換留学も果たし、多種多様な人々がいる中で自分のフィールドを持って人と関わることを学びました。迷った末に選んだ現在の専攻は国際政治。総人で出会った新しい見方を生かし、卒業後は大学院で学びを深めたいと考えています。最高の仲間と4年間迷い、語り、熱い学生生活を送れるのがここ、京大総人です。



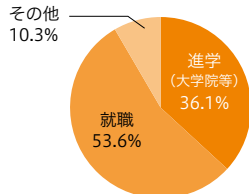
筒井 華子さん
福岡県
福岡県立東筑高等学校 出身

卒業後の進路

■進学 4割近くが人間・環境学研究所等の大学院へ進学します。

■就職 就職先は情報通信業や金融業、マスコミやIT関係といった官公庁や教育機関、化学・電気・機械等のメーカー、広告会社等のサービス業等、総合人間学部の特色を示すように多岐に渡っており、卒業生は社会の広い分野で活躍しています。

2020年度 卒業生の状況



■就職先の例 (株)三井住友銀行/東レ(株)/財務省/外務省/(株)NTTドコモ/有限責任監査法人トーマツ/(株)電通/京都市立高等学校/(株)野村総合研究所/(株)読売新聞東京本社/ヤマハ(株)/野村不動産(株)/住友電気工業(株)/(株)テレビ西日本/日本放送協会/富士ソフト(株)

■取得可能な資格 総合人間学部は下記の種類・教科に関する課程認定を受けており、教育職員免許法の定めによる所定の単位を修得し、所定の手続きを行えば免許状が取得できます。また、博物館等の学芸員や図書館司書の資格も他学部の科目を修得することで取得することができます。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科

中学校一種……国語/社会/数学/理科/英語
高等学校一種……国語/地理歴史/公民/数学/理科/情報/英語

文学部

Faculty of Letters

■ 人文学科

ここに注目

▶ 6学系31専修で文化全般をカバー

現在、文学部には哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6つの学系があります。あわせて6学系に計31専修が設置されており、人類の思想や言語文化、歴史、行動、文化全般に関する諸学問を広くカバーしています。

▶ キーワードは「人間とその文化的営み」

文学部の多種多様な研究を束ねるキーワードは「人間とその文化的営み」です。その研究領域は人類文化の起源から現代に至っており、地理的にも日本から地球の全域におよびます。また、多様に広がる専門研究を担う専修は、それぞれ独立した研究室を形成しており、学生は教員や大学院生と授業等の場を共有することで、多くの学びと知見を得ていきます。

▶ 各研究室が学問的ネットワークを形成

6学系31専修にある研究室の多くは、他大学などで研究職に就く卒業生も加えた研究会を運営しており、そうした独自ネットワークの広がりが、100年をこえる文学部の学問的伝統を支えています。

▶ 「京都学派」とよばれる自由な学風

京都大学の文学部は「京都学派」とよばれる独自の自由な学風を育むことで各界に多数の有為な人材を輩出し、国内に数ある文学部のなかでも特筆すべき位置づけを示しています。こうした歴史と伝統に培われた学習環境が、ほかに例がないのはもちろん、この知的交流の場に新入生が新風を吹き込んでくれることを求めるなど、新進の精神が絶えないのも京都大学の文学部ならではの強みです。

文学部の特徴

1 国際化に対応した新しい研究者の育成

京都大学の文学部が掲げる最大の目標は研究者の養成です。ただし研究対象が日本あるいは諸外国・地域の文学・文化に関わらず、国内の評価だけで研究者として認められる時代は過ぎ去りました。世界の研究者と対等に渡り合い、自身の研究価値を世界に認めさせながら国際的研究水準のレベルアップに寄与し、世界各国・地域の研究者がナショナルリズムをこえた相互理解の共通基盤に立てるよう、努めなければいけません。これらをふまえ、国際化に対応した新時代の研究者を育成しています。

2 専門性の高度化につながる明確な目標設定

京都大学の文学部では、思想、言語、文学、歴史、行動、現代文化、それぞれの学術体系を習得することにより、人間の諸活動を原理的に解明することをめざします。あわせて絶えず変化する環境下、これらの学問がもつ価値を問い直す研究者としての専門性の高度化をめざし、次の学習目標を設定しています。

哲学・歴史学・文学・行動科学に関する基礎的学識と専門分野についての深い理解力を養い、卒業論文の作成を通じ、問題の探究・分析能力や表現力を身につける。

哲学・歴史学・文学・行動科学に関する諸課題に向きあうことで問題の発見・解決能力を養い、創造的に取り組む姿勢を身につける。

人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その展開に寄与する行動が可能な能力を身につける。

自由で批判的な精神と良識を養い、人類が直面する課題を直視し、問題解決に積極的に寄与することができる能力を身につける。

3 教養教育の土台に専修の学びを積み重ねる4年間

1年次 まずは1年間、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に履修します。年次進行にあわせ、学習分野は専門化していくため、この間に幅広い学問分野にふれておくことは、長期的にプラスです。あわせて2年次での学系選択、3年次での専修選択を意識し、それぞれに必要な外国語を学んでおくことが望まれます。

2年次 次年度での専修選択に向けて、哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6学系のいずれかに仮分属します。あわせて各専修が開講する研究入門的な講義や基礎演習などを履修、2年次の秋に行う専修選択に備えます。

3年次 本格的な専門教育が始まります。分属する各専修では講義の他、演習や特殊講義といった専門的な授業を履修します。そのなかには大学院生とともに学ぶ授業もあります。当初は大学院生の知に圧倒されることもありますが、彼等の学問を追究する真摯な姿勢から、研究者への道が見えてくるようです。また、文学部では諸外国語をふくむ文献講読を主とする授業が多い傾向にありますが、実験やフィールドワークを行う専修もあります。

4年次 卒業論文の作成が学びの中心となります。自らテーマを定め、自ら資料を集めて分析し、自ら論文にまとめる過程は容易ではなく、辛苦を伴うこともあるでしょう。ただし辛苦を乗り越えた経験は、実社会においてきわめて有益であり、大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道に行く第一歩となります。

文学部が望む学生像

京都大学の文学部は、哲学・思想・歴史学・文学・文化・行動科学等に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念をふまえながら、新たな知的価値の創出をめざす学生を求めています。入学者の選抜においては、次の3点が問われます。

- ① 総合的な基礎学力をもっていること。
- ② 過去から現在に至り、さらに未来にまで伸びる人類の営みについて、深い関心をもっていること。
- ③ 高度な文章読解力、および論理的かつ柔軟で、創造性豊かな思考力とそれを表現する力をもっていること。



室町時代後期に近衛種家があつらえたと伝えられる
『源氏物語』の写本(文学研究科図書館 所蔵)

京都学派を育んだ新進の精神が息づく
刺激的な知的交流の場に
新風を吹き込む若き好奇心を求めて



6学系の紹介

哲学基礎文化学系

新時代の思想の担い手を育成

「哲学基礎文化学系」は多様な文化圏・言語圏に蓄積された哲学・思想を学び、新しい時代の思想の担い手を育成する〈場〉です。それは社会や他の学問領域では自明とされていることの原点に立ち戻り、問い直す〈場〉でもあります。たとえば「殺人は悪」とする常識の根拠は何なのか、善悪の区別に意味はあるのか、科学や歴史学が標榜する〈実証性〉とは何なのか、人間にとって宗教とは何なのか、美や芸術とは何なのか、これらの問いは人間の知的営み全般に向きあうことでもあります。哲学基礎文化学系は、そんな知的野心あふれる〈場〉にほかなりません。

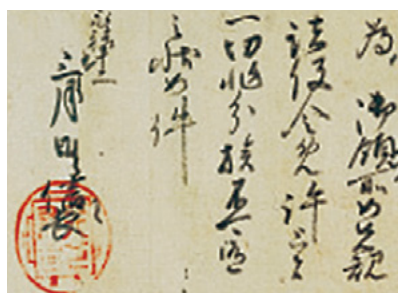


アウグスティヌス『告白』の冒頭部分。1491年に刊行された最初の印刷本

歴史基礎文化学系

人類社会の発展を時間軸に沿って考察

「歴史基礎文化学系」は日本史学、東洋史学、西南アジア史学、西洋史学、考古学、5つの専修で構成されています。文献史料を主な対象とする4史学と考古学の研究手法は大きく異なりますが、人類と社会の発展を時間軸から考察する点は共通しています。また、文献や史料を読み解く学力の習得を重視するとともに、演習・実習による実践的な学びを充実させているのも5専修の共通点です。さらに他学系の授業、たとえば地理学や現代史学、東西の古典語なども学ぶことにより、人類の文化的な営みを総体的に捉える視点を獲得することも可能です。



織田信長朱印状

東洋文化学系

時代をこえた文化研究を行う

「東洋文化学系」では日本、中国、インド、チベットなど、東アジア諸地域の文学・思想・宗教・言語などを主に、時代をこえた研究を行います。専門分野によっては科学や芸術、サブカルチャーにまで踏み込むこともあります。その基礎は文献資料の読解にあり、原文でしかわからない意図や美の理解を求め、原典言語の学習に取り組みます。めざすのは、東洋と世界がどのように関わっているのか、歴史的伝統と現実はどのように結びついているのか、文学や芸術はどのような世界を創るのか、これらを正確な専門知識と幅広い視野から解明していくことです。

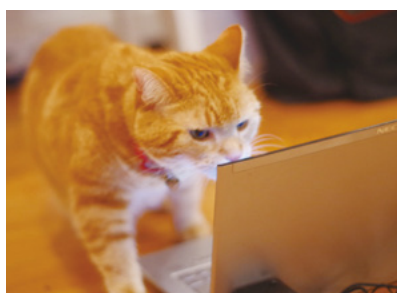


中国語学中国文学研究室所蔵の貴重資料

行動・環境文化学系

人々の思考と関係性が生まれる現場へ

「行動・環境文化学系」は心理学、言語学、社会学、地理学の4つの専修で構成されています。心理学専修では実験を通じ、知覚・認知、思考、記憶、発達、社会性といった〈心の働き〉を研究します。言語学専修では、個別言語の構造・体系の分析や、言語が一般に機能する仕組みや変化する仕組みの研究を行います。社会学専修では社会構造の変化や人びとの関係などを研究し、昨今の多様なトピックスに焦点をあてる社会調査にも注力します。地理学専修では、地域の現地調査や資料・データ分析を通じて、地表での多様な自然と人間の関係を研究します。



パソコン画面に映し出された視覚刺激を見つめるネコ

西洋文化学系

文学と言語の視点に立った研究を

「西洋文化学系」ではヨーロッパやアメリカの文化と社会について、主に文学と言語の視点に立った研究を行います。取り扱う時代は幅広く、古代から中世、近代や現代に至ります。但し研究対象に関わらず、その基礎は文献資料の正確な読解にあり、まずは語学力の習得に取り組みます。そうして養う高度な語学力や読解力、文学や言語文化に関する深い考察力が研究者の道を拓くことはもちろん、幅広い視野に基づく異文化理解力やコミュニケーション能力を活かし、官公庁や教育、報道、出版、流通など、多方面で活躍する卒業生も少なくありません。



ドイツ語学ドイツ文学の研究会

基礎現代文化学系

現代の多面的な把握に取り組む

現代は、歴史上かつてなかったほど、人類が巨大な変化を経験している時代です。「基礎現代文化学系」は、さまざまな角度から、この「現代」の特質や成り立ちを考察します。科学哲学科学史専修は、現代を特徴づける科学の営みを哲学や歴史学的手法を用いて分析します。現代史学専修は、現代史は世界史であるという観点に立って、歴史学的手法により現代世界を分析します。メディア文化学専修は、おもにメディアや情報という切り口から、人文学のさまざまな手法を組み合わせながら、現代の社会や文化を考察します。



手書きのドイツ語日記から「幾何」の単語を検索している文献研究用ツール「SMART-GS」

来たれ、
学問の世界

好奇心の扉を開け放って！
映像をとおして出会う
新しい価値観とその実践



大学院文学研究科
ミツヨ・ワダ・マルシアーノ 教授

私の専門分野は「映像」です。どんなテーマを扱うにも、かならず「映像」というメディアをとおして対象を見つめます。たとえば、「植民地」や「災害」などのテーマを描いた映画を追いながら、それぞれに適切な理論、手法を考えることもあれば、興味のある理論から映像に迫ることもあります。授業で扱う「クイア理論」も手法の一つです。

これまでのジェンダー研究は、「女性と男性」というヘテロ・セクシュアル、つまり男性と女性とが対になる考え方が基本でした。だけど、それぞれの性自認はかならずしもその土台にのらないし、同性婚を認める地域が増えるなど、社会も変わってきています。こうした現状もふまえ、従来の考え方をひっくり返して事象を見つめ、価値観を考えなおすことを、映画をとおして実践します。

授業では関連した資料を読んだあと、映画を観て理解を深めます。私から、ひんぱんに感想や意見を尋ねるので、まちがってもいいし、見当はずれな答えでもいいから、自分の言葉で話してほしいのです。講義をずっと聞いていると理解したような

気になりますが、実際に言葉にしようとした瞬間、「わかっていない」、「うまく言えない」ことに気がつきます。それが自学への第一歩です。

学生にとって、先生から推薦された作品なんて、はじめは「つまらない」と思いがち。でも、授業で聞いたポイントを考えたり、「おもしろいのか？」と訝しげに映画を観るうちに、自分なりに納得したり、興味深い箇所を見つけることができる。毎回の授業では、そうして何かひとつ持ち帰ってほしい。「映画で学ぶ」というと、「どれだけ映画を見たか」という知識量重視だと思われがちです。くわえて、東アジア諸国は受験戦争の影響か、効率的に「必要なものだけを学ぶ、観よう」という学生が多い。でも、好奇心の範囲に限定せず、最初は興味がなくても、迷いながらも、自分で考えて枝葉を広げてこそ〈学び〉が深まります。私の担当する授業では京都大学や日本を超えて、世界のどこに飛びだしても通用する考え方を伝えています。可能性の枠を決めず、外に外に飛びだしましょう。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院文学研究科 文献文化学専攻 同専修 修士課程2回生
2019年3月 東洋文化学系 中国語学中国文学専修卒業

広くて深い専門という名の
「海」に出会う

私の専門領域は、いわば漢字の海。そこにあるのは、いわゆる漢詩漢文に白話文、現代中国語、書道……等々。とにかく広くて深淵な海です。全身どっぷりと浸かりながらしかもいつまでも倦むことがない、そんな「海」をみなさん一人ひとり見つけてください。



仲村 康太郎さん
京都府
洛南高等学校 出身

在校生

文学部 行動・環境文化学系 言語学専修
4回生

人の数だけある「視点」。
日々のやりとりが刺激的

京都大学の魅力はたくさんありますが、私がかっとも素敵だと思うのは、人です。文学部の中に限っても、ともに学ぶ同級生は同じ授業を受けても全く違う感想を抱くくらいに興味関心の対象が多様で、お互いにとっていい刺激になっていると思います。所属するカーリングサークルや京大郵趣会で他学部の部員から専門分野の話聞くことも、私の楽しみの一つです。皆さんも、入学を果たした末には、きっと素敵な出会いが待っていますよ。

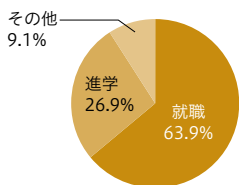


白井 遥大さん
千葉県
渋谷教育学園幕張高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 この数年は2〜3割が大学院に進学しています。就職先としては官公庁や教育機関、マスコミや出版関連が多数でしたが、最近では情報通信業や金融業の比率も高まっています。また、特定の分野に偏らず、幅広い業種・業界で活躍する卒業生が多いのも文学部の大きな特徴です。

2020年度 卒業生の状況



■就職先の例 国家・地方公務員／日本生命保険相互会社／日本放送協会／(株)三井住友銀行／(株)東芝／関西電力／西日本電信電話(株)／日本たばこ産業(株)／小学館(株)／ソニー(株)／マツダ(株)／旭化成(株)／伊藤忠商事(株)／学校法人河合塾／楽天(株)／(株)KADOKAWA／(株)NTTデータ関西／(株)セガ／(株)テレビ朝日／(株)講談社／(株)阪急阪神百貨店／(株)読売新聞大阪本社／(株)日本経済新聞社／日本IBM／国立大学法人京都大学 など

■取得可能な資格 文学部では所定の科目を修得した場合、教育職員免許状や博物館学芸員資格の取得が可能です。また、地理学専修の卒業生で測量に関する科目を修得して卒業後1年以上、測量に関する実務を経験した者は測量士の資格が取得できます。その他、教育学部が開講する所定の科目を修得することで、図書館司書や学校図書館司書教諭の資格も取得できます。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科

中学校一種……国語／社会／英語
高等学校一種……国語／地理歴史／公民／英語

教育学部

Faculty of Education

■ 教育科学科

ここに注目

▶ 教育という営みを通して「人間とは何か」を考える

京都大学の教育学部は、教員養成を主目的としていません。教育をはじめとする人間の次世代伝承の営みを、現代社会の諸問題と関連づけて探究する知の創出を目指しています。より良き未来社会を実現するために必要な知と技法の開発と人材育成を担っています。

▶ 諸科学の融合による「新たな教育」の探究

人間の営みは、個や社会、文化が複雑に絡み合いながら、そして、時間軸にそってつねに変容し続けていく事象です。そのため、教育学部では、人間を深く探究する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の身体や脳、心に関する人間科学など多様なアプローチから「人間とは何か」を多面的に探究できる教育・研究プログラムを提供しています。

▶ 基礎研究と現場実践の往還による知の創出

教育学部では、理論とフィールドでの実践との往還を重視しています。基礎研究の成果を現場にフィードバックし、さらにその結果を基礎研究により検証するループを継続しながら、未来社会に資する学術からの貢献を目指しています。

▶ 教育界の次代を担うリーダーの育成

教育は未来を創る営みであり、教育学部は未来に関わる学問を学ぶ場です。変化の激しい現代は未来が見通しにくい時代であり、教育への期待は日増しに大きくなり、果たすべき役割の重要性も高まる一方です。これらに応えるため、教育学部では多様な学問が学べる3系と少人数制の利点を活かした指導により、学生たちを教育界の次代を担うリーダーへと育みます。

教育学部の特徴

1 人間らしさを擁護・促進する態度の養成

全学共通科目による教養教育と学部科目による専門教育を有機的に関連させた学びを提供することで、現代人に必要とされる広い視野と異質さへの理解、多面的・総合的な思考と批判的判断力、これらを備えた「人間らしさを擁護し促進する態度」の養成を教育方針としています。

2 教育に多様な観点から向きあう3系

教育学部は1学科(教育科学科)3系で編成しています。教育に関連する事象を、さまざまなアプローチからとらえる知と技法を習得するための基礎教育プログラムを提供します。あわせて“ゆるやかな”専門的分化を図ることで、教育が抱える複雑かつ重層的な問題を科学的に分析し、どのようなアプローチで解決にせまることができるかを探究する能力を養成します。

※各系の詳細は次ページ参照

3 ゆるやかに専門分化していく4年間

入学当初は幅広く教養を培う全学共通科目を履修し、年次進行にあわせ、教育学部の専門基礎科目や専門科目に移行していきます。その間、幅広い視野や複眼的な思考力の獲得を目指し、他学部が開講している専門科目の履修も推奨しています。

1年次 必修専門科目の「教育研究入門」、推奨科目の「情報学」などを履修します。また、教職科目はもとより、教育学部の教員は全学共通科目の諸講義や少人数教育科目群「ILASセミナー」なども担当しており、これらを履修するのも有益です。

2年次 教育学部の専門基礎科目を主に履修します。あわせて3年次の系分属を意識しながら、専門分野への興味・関心や自身の適性を見定めます。

3年次 現代教育基礎学系、教育心理学系、相關教育システム論系、いずれかの系に分属し、各専門科目を学びます。

4年次 学びの集大成となる卒業論文を作成します。大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道を行く第一歩となります。



教育学部が望む学生像

20世紀は教育が学校中心に機能した学校教育社会でした。しかし21世紀は学校だけでなく、社会のさまざまな場所と一人ひとりの人生のさまざまな局面において、人間形成の営みがゆるやかにネットワーク化される「人間形成社会」が出現しつつあります。これからの教育学は、この「人間形成社会」の展開過程で必要になる新たな知と技法の創出が求められます。そのため教育学部では、心と人間と社会について、深い関心と洞察力をもち、柔軟な思考と豊かな想像力に富む学生を求めています。



教育は未来を創る営み。
「人間とは何か」を探究しながら
人類の未来に必要な知を創出する



現代教育基礎学系

現代の教育が抱える複雑な課題を多様な観点から解明する

学校の在り方に関心がある人、カリキュラムや授業・評価の開発を目指す人、胎児期からの心の発達や障害に関心をもつ人、教育の問題を歴史的に研究したい人、教育を哲学的に深く考えたい人、そうした人たちが学ぶ系です。

●**教育哲学・教育史学** 何のために教育は必要か、どのような学校が望ましいか、教育が抱える多様な問題を哲学や歴史学の観点から分析します。学校教育制度や教育に対する考え方の歴史的な成立過程、時代による変遷などについても探究し、新たな学習や教育の姿を提示するための知識や方法論を身につけます。

●**教育方法学・発達科学** カリキュラム・授業・評価に関する理論と実践の蓄積に学びます。また、人間の「身体-脳-心-行動」の発達とその多様性のメカニズムを科学的に理解する発達科学のアプローチにより、個別型の発達・教育支援法の開発を目指します。

●**教育人間学・臨床教育学** 芸術、身体、言語など、人間学の多様なテーマについて、主として思想研究の手法から考察します。また、それらを通じて“ことば”に対する感受性を育て、フィールドに立って考える力を身につけます。



教育心理学系

心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育む

「教育心理学系」では、心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育成します。あわせて教育・認知心理学、臨床心理学を主とする充実したカリキュラムを組み、他学部等の心理学系教室・教員とも連携しながら活発な教育・研究活動に取り組みます。

●**教育・認知心理学** 記憶、言語、推論、意思決定、知能、他者理解、共感、社会的認知といった高次認知過程の側面に関する主要な理論や知見を学びます。また、それらの発達の特徴や教授・学習法、動機づけ、メディアやコンピュータの活用など、教育活動と密に関わる心理学の諸側面の知識の習得と応用を目指します。あわせて心理実験・調査やデータ解析などの手法を身につけ、心理学の研究に取り組む基盤を得ていきます。

●**臨床心理学** 心に関する対人支援に向けた専門知識と技能を身につけることを目指し、自己理解を深めつつ、面接や遊戯などの心理療法、心理査定技法や調査の方法、描画や箱庭といったイメージ表現の理解法などを学びます。こうした専門知識と技能が卒業後、さまざまな仕事や社会行動で活かせるのはもちろん、大学院・修士課程での臨床心理士・公認心理師取得につながります。



関連教育システム論系

教育と社会の結びつきを次代に向けて創造的に探究する

21世紀は学校だけが教育に関わるのではなく、社会全体が人間形成の場となり、そうした社会における教育の柔軟な在り方やネットワーク化が課題になっています。「関連教育システム論系」では、こうした考え方を視野に入れ、教育と社会の結びつきを創造的に探究することを目的に学習します。そのために次代の社会と人間に求められる重要な課題を意識したカリキュラムを提供し、少人数制のゼミや講義をはじめとする特色ある指導を行います。

●**教育社会学** 人間の社会形成に関わる集団の教育作用について研究すると共に、学歴社会や青少年問題、教育変動などの諸課題を社会学的な観点から考察する力を養います。

●**メディア文化学・図書館情報学** 世論を生み出す広範なメディア現象、また図書館を通じた情報の生成・流通・消費を分析することから、社会と文化を歴史的に読み解く研究を行います。

●**文化政策学・社会教育学** 広く人間とその社会が構築されてきた歴史を、多様な文化の取り扱いやその背景にある議論、学校教育を超えた学びの在り方を通じて考える視点を習得します。

●**比較教育学・教育政策学** 各国の教育制度、政策、実践、理論などを理解する国際的な視野と考え方を学ぶと共に、政策科学的な観点から教育の行財政制度と具体的な政策立案について学習します。



Curriculum Tree

教育学部教育科学科

現代教育基礎学系

- 教育原論／教育人間学／教育史学／教育方法学／教育課程論／授業論／生徒指導論／発達教育論／発達科学／障害児教育論

教育心理学系

- 教育心理学／認知心理学／臨床心理学／人格心理学／発達心理学／メディア教育／児童・青年心理学／障害児心理学／社会心理学／教育評価

関連教育システム論系

- 教育社会学／文化社会学／社会調査／メディア文化学／文化政策学／図書館情報学／社会教育学／比較教育学／教育行政学／教育制度／教育財政学

教育学は多様な視点の交差点。
あなたの生きる未来を
あなた自身で描く場所



大学院教育学研究科
明和 政子 教授

次の世代が生きる未来社会をどのように描くのか。この問いに対峙するのが教育学部のミッションです。発達や学習方法などの「個人」の成長に関わることはもちろん、学校教育の歴史や教育制度の在り方など「社会」のダイナミズムもその範疇です。

人類の未来を想像するとき、避けておれないのが地球環境問題や貧困問題などのグローバル課題。技術や理論、政治、歴史などの時空間が混じりあうこうした課題は、一つの学問領域の枠から眺めるだけでは、問題の本質や解決策を見出すことはできません。多様な視点を総動員して、新たなアプローチを創る必要があるのです。

教育学部は、人間の本質を理解するための思考を深めることのできる場。自然科学を主軸としてヒトの脳や心の解明を目指す基礎研究から、実際の教育現場での指導法や社会システムの設計を考える応用研究など、多彩な研究にふれられます。たとえば、腸内細菌のパターンは3歳までには決まり、それは脳や心の発達に影響することが最近わかってきました。子どもた

ちにとって真に適切な環境とは何かを理解することで、エビデンスに基づく現場応用への議論が可能になるのです。

今、私たちが生きる社会で対立や分断が深まっています。解決の鍵は「科学的エビデンス」。それは、多様な価値観からの合意形成を導く羅針盤となります。もうひとつ大事にしたい視点は、「共感する力」。ヒトは相手の立場にたって共感する脳を、進化の過程で獲得してきました。立場が異なる者に対して共感し、対立を乗り越える力を持っているのです。人間の本質を教育学部で学び、課題の解決を目指してほしいと思います。

次世代が見る社会は、今、私たち教員が見ている社会とは異なるものとなっていくでしょう。教員から知識を得るだけでなく、自分の感性を大事にして世界を見つめてみてください。「自分たちの未来は自分たちでつくる」。この意識で、未来人類の幸福に資する学問領域を拓いてほしいと願っています。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院教育学研究科 修士課程1回生
2021年3月 教育学部 関連教育システム論系卒業

想像を超える
「教育」の豊かさを学ぶ

「人間について学びたい!」と思って門を叩いた教育学部。そこで掲げられる「教育」の概念は、想像以上に豊かでした。この学部では人間の営みに関して、教育・心理・社会を大きな柱として、幅広い視点から学ぶことができます。僕は人間と人間の関係を研究する社会学に惹かれ、現在は漫画を中心とした大衆文化に関して大学院で研究を進めています。きっと、人間社会に関する興味関心を発見し、深い洞察を得ることができるはずですよ。



上村 太郎さん
鹿児島県
ラ・サール高等学校 出身

在校生

教育学部 教育科学科(教育心理学系)
4回生

知らない世界を教えてくれる
友人、先輩との出会い

京大はさまざまな価値観や背景を持った人がいて、新たな気づきや刺激がたくさんある環境です。特に教育学部は仲がよく、ヨコだけでなくタテの繋がりがからも学べるのがたくさんあります。私は入学前から心理学に興味をもち、今も心理学を学んでいますが、教育学部には本当にさまざまなことに興味をもって学んでいる人がいます。友人と話すだけでも自分の知らない世界に気づくことができる。そんな多彩な学部の人になりませんか。

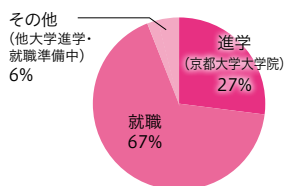


杉山 佳菜絵さん
京都府
洛南高等学校 出身

卒業後の進路

■進学 例年3割ほどの学生が本学「教育学研究科」などの大学院に進学します。中学校や高校の教職に就く学生も少なくありませんが、文部科学省や法務省をはじめとする官公庁の他、マスコミや出版、金融・保険や各種メーカー、サービス業など、就職先は多岐にわたります。

2020年度 卒業生の状況



■就職先の例 関西電力/東京家庭裁判所/京阪ホールディングス(株)/武田薬品工業(株)/広島県教育委員会/楽天(株)/三井住友銀行/三菱UFJ銀行/文部科学省/NISSHA(株)/ネスレ日本/中部電力/日本生命保険相互会社/アクセンチュア(株)/ヒューリック(株)/エイフォース(株)/(株)ベネッセコーポレーション/(株)SCREEN/stooco(株)/(株)日本エルディアイ/文教学園中学校教員/(株)レオフラン など

■取得可能な資格 【公認心理師試験の受験資格】公認心理師法に定める公認心理師の資格を得るためには、国が実施する公認心理師試験に合格する必要がありますが、本学部・研究科の修学期間内に、同試験への受験資格を得るために必要な科目を履修することができます。具体的には、文部科学省令・厚生労働省令に定められている科目を、大学(学部)及び大学院(研究科)においてそれぞれ履修し必要単位を修得する等により、受験資格を得ることができます。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種……社会 高等学校一種……地理歴史/公民
特別支援学校教諭一種……聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者

法学部

Faculty of Law

ここに注目

▶ 約39,000名の有為な人材を輩出

法学部は1899(明治32)年に法科大学として創設され、今日まで約39,000名の有為な人材を社会に輩出してきました。また、創設期の教授陣は自由な学問研究を尊重し、東京帝国大学とは異なる大学の在り方を模索しました。

▶ 法科大学院と公共政策大学院を設置

京都大学の法学部は戦後の経済・社会の急激な変容、文化・科学の著しい進展に対応し、講座数および教員数を拡充してきました。あわせて1992年から研究・教育の国際化・学際化・高度化に対応するため、それまで学部配置されていた講座を大学院に配置、大学院の教員が学部教育も担当しています。さらに2004年には法曹の養成を目的とした専門職大学院「法科大学院」を設置。2006年には経済学研究科と協力し、公共的な役割を担う高度専門職業人の養成を目的とした専門職大学院「公共政策大学院」を設置しました。

▶ 学生の自主的学習を奨励

創設当初、必修化された演習(ゼミ)は今も、重視されています。それは学びの選択肢に自由な余地を限りなく広げ、学生の自主的学習を奨励するという伝統となり、今も脈々と受け継がれています。

▶ 国家や社会を見直す大局観を養成

京都大学の法学部は国家や社会の在り方を見直すことに関わり、組織で指導的な役割を果たせる人材養成を目的としています。今日、世界も日本も大きな転換期を迎え、さまざまな問題をかかえています。こうした状況に向きあい、新しい制度を設計するためには、文化の多様性を尊重し、平和な社会の実現に貢献できる豊かな国際感覚を備え、法律や政治の仕組みに関する専門的な知識をもつとともに、社会全体を視野に入れ、知識を組み合わせる構想力や大局観を養わなければなりません。京都大学の法学部は、こうした能力を備えた人材を育成するために、豊かな教養と法律学・政治学の専門知を提供しています。

法学部の特徴

1 視野を広げる教養科目の充実

「教養科目」である「全学共通科目」は人文・社会科学科目群、自然科学科目群、統合科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群等で構成されています。これら全学共通科目は4年間、どの学年でも履修できるようになっていますが、法学部では専門科目が主となる3年次までに学び、英語をふくむ外国語の運用能力や豊かな教養を培いつつ、視野を広げるようにしています。

2 年次進行にあわせて増える専門科目

「専門科目」は、内容に応じ、履修できる学年を定めています。1年次では、導入的な専門科目として法学入門、政治学入門、家族と法を履修します。また、憲法(統治機構)、憲法(基本権)、民法(総論・総則・親族)、刑法(総論)など法体系の全体像や基本の理解につながる科目も、3年次までに履修します。これ以外の専門科目は、3・4年次に配当されるものを中心ですが、政治学関連科目のほか、基礎法関連科目と公法・民事法関連科目の一部は、2年次でも履修できます。

3 特別科目や演習で社会変化に呼应

社会の全体像や動きを捉えるには経済学の知識も必要であり、法学部では経済学部の一部科目が履修できます。また、毎年かならず開講される基本的な専門科目に加え、新たな法律・政治現象や企業の法実務などに呼应する特別科目も年度ごとに開講しています。さらに3・4年次に配当される演習(ゼミ)では、少人数クラスで周知な予習にもとづく活発な討論が行われています。

4 自由度の高い科目選択と主体的学習

専門科目に“必修”設定がないのも京都大学・法学部の特色です。その主旨は「自身の将来は自身で設計する」という考え方にあり、自分がどのような科目を選択し、どのような学習計画を構築するか、すべて学生各自の主体性に任されています。 ※堅実な学習を促すため、各学期(セメスター)に履修登録できる単位数には上限を設けています(キャップ制)。

5 法科大学院への早期進学への道も

法学部では、特に意欲がある法曹志望者のために、京都大学法科大学院の教育課程と連携した「法曹基礎プログラム」を用意しています。3年次の終わりに、成績優秀、必修科目等の同プログラムの修了要件を満たしている場合は、法学部を3年間で早期卒業して法科大学院に進学することも認められます。



法学部が望む学生像

法学部では、世界・国家・社会のさまざまな問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる学力、とりわけ社会科学に関する基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた学生を求めています。



目標を見定め、幅広い選択肢から
自らの「学びのかたち」を選びとり、知識を組み合わせる構想力と
国家や社会を見直す大局観を養う



専門科目の紹介

専門科目

法体系の全体像と基本を捉え、新たな制度設計や社会実践につなげる

京都大学の法学部では次の専門科目を選択履修していきます。

- 法学領域 法理学/法社会学/日本法制史/西洋法制史/ローマ法/東洋法史/英米法概論/ドイツ法/フランス法/憲法(統治機構)/憲法(基本権)/憲法(総論・憲法訴訟)/行政法(総論)/行政法(行政訴訟)/行政法(国家補償)/租税法/国際法(総論・領域)/国際法(対人管轄・紛争)/国際機構法/民法(総論・総則・親族)/民法(物権)/民法(債権総論・相続)/民法(債権各論)/商法(会社)/商法(総則・商行為)/商法(手形)/経済法/知的財産法/民事訴訟法/国際私法/国際取引法/労働法/社会保障法/刑法(総論)/刑法(各論)/刑事訴訟法/刑事学/法学入門/家族と法
- 政治学領域 政治原論/政治過程論/比較政治学/アメリカ政治/国際政治学/国際政治経済分析/政治史/日本政治外交史/政治思想史/行政学/公共政策/政治学入門I/政治学入門II
- 法学政治学基礎演習A・B
- 外国文献研究(英・独・仏)

- 特別講義 上場会社の法規制/倒産処理法(総論・法人破産)/倒産処理法(再生・更生・個人破産)/民事執行・保全法/日本政治思想史/外交史/Introduction to European Law/Japanese Politics from a Comparative Perspective/International History 1900 to the Present/現代社会と弁護士(弁護士法人大江橋法律事務所寄附講義)/現代社会と裁判/生命保険の実務と法(日本生命保険相互会社寄附講義)/金融法と銀行実務(株式会社三井住友銀行寄附講義)/信託法の理論と実務(三井住友信託銀行株式会社寄附講義)/国際企業取引の実務と法(住友商事株式会社寄附講義)
- 経済関係科目 ミクロ経済学1/ミクロ経済学2/社会経済学1/財政学/金融論/経済史/上級経済史/世界経済論/金融政策/経済政策論/租税論/経済統計学/会計学/企業分析/経済学史/日本経済史/欧米経済史/社会政策論

演習(ゼミ)

法学部の創設当初から重要視されてきた演習(ゼミ)では、徹底した少人数制と周到な予習に基づき、活発な議論・討論に取り組みます。

- 法学領域 法社会学/日本法制史/ローマ法/東洋法史/ドイツ法/憲法/行政法/租税法/国際法/国際機構法/民法/商法/経済法/知的財産法/民事訴訟法/国際私法/国際取引法/労働法/社会保障法/刑法/刑事訴訟法/刑事学
- 政治学領域 政治原論/政治過程論/比較政治学/アメリカ政治/国際政治学/国際政治経済分析/政治史/日本政治外交史/政治思想史/行政学



京都大学 法学部の4年間

1年次

- 入学式 京都大学全体の入学式終了後、歴史ある法経第四教室で賑やかな雰囲気による法学部だけの入学式も行われます。
- 始業・履修登録 ガイダンスや先輩のアドバイスなどを参考にしながら、自分自身の“時間割”をつります。
- クラス分け 8つあるクラス分けが発表されます。1年次で主に学ぶ教養科目や以降の専門科目はすべて選択制ですが、語学の授業はクラス単位で受講します。
- 前期試験 夏休み前の7月・8月、京大生として初めての定期試験が行われます。
- 11月祭 クラスやクラブ・サークルで出展(出店)します。仲間との一体感が生まれる場でもあります。
- 後期試験 春休み前の1月・2月、後期試験が行われます。1年間の学びの成果が問われます。

2年次

- 新入生歓迎会 後輩を迎え、アドバイスをする立場に。学業、クラブ・サークル、アルバイト、多忙だけれど充実した毎日を過ごします。
- 専門科目の履修 1年次では少なかった専門科目が増え、憲法や民法、刑法などの法学基礎科目に取り組みながら、リーガルマインドを養います。
- 法学専門サークル 法学部サークル連合(略称:法サ連)という法学・政治学に関するサークルに加入したり、課外で専門的な活動を行う学生も増えていきます。
- 演習(ゼミ)登録 これまでの学びを通じて抱いた興味・関心に基づき、12月に3年次の演習(ゼミ)登録を行います。
- 将来設計 登録したゼミをふくめ、今後の専攻分野や将来の進路について、自身の適性や可能性を探っていきます。

3年次

- 演習(ゼミ) 法学部の創設当初から重要視されているゼミでの学びがスタート。授業時間に関わらず、議論・討論は尽きません。
- 海外留学 視野を世界に広げることを目的に、交流協定を結ぶ海外諸大学への留学は、2・3年次が好機です。
- 進路選択 この時期、インターンシップに取り組む学生も少なくありません。そうした経験に基づき、就職が法科大学院などへの進学か、進路を見定めるのもこの時期です。
- 進学準備 法科大学院や公共政策大学院への進学を決めた学生は、試験準備を開始します。
- 就職活動準備 就職を選ぶ学生は企業説明会への出席など、就職活動の準備を始めます。

4年次

- 進路活動 法科大学院や公務員を志望する学生は各試験に向けた勉強に、一般企業を志望する学生は就職活動に、それぞれ懸命に励みます。
- 省庁まわり 公務員試験を経て、国家公務員総合職の合格者は東京の各省庁を訪問し、志望意志を固めます。
- 法科大学院合格発表 合格はゴールではなく、法曹へのスタート地点。あらためて気を引き締め直し、学び続ける姿勢を保ちます。
- 最後の期末試験 大学院への進学、省庁への入庁、企業への就職、卒業後の雄飛に向けて、最後の期末試験で4年間の成果を示します。
- 卒業式 充実した4年間を振り返りながら、仲間や恩師と今後の活躍、社会貢献を誓い合います。

法学は人智の集積。
どんな知識も経験も
社会をとりなす知恵となる



大学院法学研究科
吉政 知広 教授

民法と聞くと堅苦しさを感じるかもしれませんが、だれしも朝起きてから寝るまでのさまざまな場面で民法と関わって暮らしています。たとえば、アパートを借りるときには賃貸借契約、アルバイトでは雇用・労働契約、交通機関の利用時には運送契約を締結することになります。

私は民法のなかでも主に契約法を専門にしています。法学の研究者は、対象とする事象が他の学問分野や他国ではどう扱われているのかなど、一歩引いた広い視野で法の世界を眺めることが任務であると考えています。その結果、背後に隠れていた問題が見えたり、意外な関連を見つたり。それを可視化できたときにおもしろさややりがいを感じます。法学は、唯一の真理を追求する学問ではありません。文化、宗教、価値観の異なる人たちがいかに共存し、市民社会を成り立たせていくかを考える学問です。いわば、人類が何千年もかけて築き上げた知恵の集積。私を含めて法律家は皆、多くの方がより良い社会生活を送るお手伝いをしているという気持ちで法に関わっていると思います。

現在、日本では法曹を早く世に送り出すために、学部入学から法科大学院修了まで

の年数を短くする動きがあります。京都大学法学部でも、憲法、民法といった基礎科目を1年次から履修するカリキュラムを採用しました。大学に入学してすぐに法律に関する科目を履修する機会があることになりませんが、思考が柔軟な若いときにこそ、他の社会科学のほか、自然科学などの学問分野にも興味を広げて積極的に学んでほしい。そうして身につけた知識や経験は、より広い視野で社会を見る糧として将来のかけがえのない財産になると思います。

情報通信技術の発展に伴い、我々の社会は大きく変容しています。社会を規律する法律のあり方も、当然変わっていくことになり。これまで人間が担ってきた判断の多くは、AIによる判断に取って代わられることが予想されます。法律家がしてきた判断も例外ではないでしょう。こうした未来の社会において、法がどのようなものであるかを考えるにあたっては、これまで法学が蓄積してきたのとは異なる知見が必要になってくると考えられます。たくさん寄り道をして得た幅広い知識や経験に裏打ちされた知恵こそが、これからの法学を創るのです。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

株式会社浜田(経営企画室)
2021年3月 法学部卒業

京都大学で充実した時間を
過ごすために

私が京都大学で最も驚いたことは、活用できるリソースの多さです。図書館の規模はもちろん、オフィスアワーで分野の最先端のお話を先生から伺うこともできます。留学システムなども充実しており、自身の希望の実現可能性は非常に高いです。学部卒業後、私も挑戦する気概を忘れずには働きながら税理士を目指しています。いくつになっても人生は勉強です。京都大学を目指す方々が、素敵な学びを得られるように心から祈っています。



木村 諭佑さん
大分県
大分県立別府鶴見丘高等学校 出身

在校生

法学部 3回生

興味の赴くままに
正解のない問いと向き合う

京大法学部は学科に分かれていないため、法学・政治学の区別にとらわれず、自分の興味の赴くままに自由に科目を取ることができるという点が特徴です。また、ここでは自学自習の精神が重んじられており、漫然と講義を受けるのではなく自分で疑問や問題意識を持って深掘りすることが求められます。最初は難しく感じられますが、高校までの勉強とは異なり、正解のない問いと向き合う楽しさを体感できる場所だと思います。

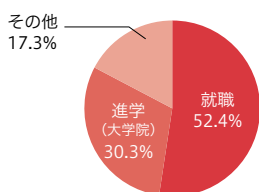


萬代 瑛子さん
京都府
京都市立西京高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 国家・地方公務員、民間企業、法科大学院をふくむ大学院への進学など、進路は多岐にわたります。大学院に進学する学生の約8割は、京都大学をはじめとする全国の法科大学院に進んでいます。また、京都大学公共政策大学院は例年、入学者の約2割が本学部の出身です。民間企業への就職先は、従来主流だった金融・保険業に限らず、幅広い業種・業界にわたっています。

2020年度 卒業生の状況



■就職先の例 国家・地方公務員/㈱日本政策金融公庫/日本銀行/㈱三井住友銀行/㈱三菱UFJ銀行/三井住友信託銀行(株)/みずほ証券(株)/野村證券(株)/日本生命保険相互会社/東京海上日動火災保険(株)/㈱日本経済新聞社/西日本旅客鉄道(株)/東海旅客鉄道(株)/西日本電信電話(株)/関西電力(株)/㈱NTTドコモ/サントリーホールディングス(株)/関西テレビ放送(株)/日本放送協会/日本たばこ産業(株)/パナソニック(株)/富士通(株)/三井物産(株)/伊藤忠商事(株)/楽天(株)/㈱KADOKAWA/富士フィルム(株)/㈱博報堂/任天堂(株)/清水建設(株)/㈱セブーン/イレブン・ジャパン/有限責任監査法人トーマツ/デロイトトーマツコンサルティング合同会社 など

■取得可能な資格 法学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程を設けています。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種…社会 高等学校一種…公民

経済学部

Faculty of Economics

■ 経済経営学科

ここに注目

▶ 経済学と歩んで100年

経済学部は1919(大正8)年に法学部(法科大学)から分かれて誕生しました。2019年には100周年を迎えた、日本で最も古い経済学部の一つです。この長い歴史のなかで京都大学経済学部は、多数の著名な研究者、個性的な実業界のリーダーや各方面で活躍する優れた人材を送り出してきました。さらに革新を求め、絶えず先端的な分野の拡充をはかってきました。

本学部の特色は、京都という地域に相応しい「伝統と革新」、そして京都大学の先人たちに共有されてきたリベラルな知的雰囲気にあります。

▶ 経済の未来と対話

経済学部は、「自由の学風」のもと、経済学・経営学の立場から、経済活動や企業活動を考えるだけでなく、個人や社会の厚生を考える学問をする場です。自学自習を基本精神として、財政、産業、雇用、金融、地球環境、国際市場、経済発展などの複雑で多様な問題について歴史・思想などを根底から学び、その解決策を考えます。経済学や経営学の専門科目だけでなく幅広い分野から自主的に選択し自由に学ぶことができます。また、大学院との共通科目や社会人講師による実践的講義も開講しています。さらに、本学部では創立以来、演習(ゼミナール)制度を重視し、少人数の学生と担当教員による対話型学習システムをつくってきました。演習では指導教員のもとで少人数の学生同士でこうした諸問題に関するテーマを学び、報告、検討しながら問題の本質を捉えるべく対話的学習をします。

▶ 多様性と国際性

経済学部は、理系入試や特色入試をはじめ留学生入試、外国学校出身者入試、3年次編入学入試など国立大学の中で先んじて多様な入試制度を導入してきました。それによりさまざまなバックグラウンドを持つ学生同士が刺激しあいながら切磋琢磨し、豊かな教養と人間性、国際感覚を身につけることを目指しています。本学部では交流協定締結校への学生派遣に応募することができ、多くの学生が英語圏のみならず多様な国や地域への留学を経験しています。本学部独自の学生交流協定制度を積極的に活用して世界の大学へ留学し、自分の可能性をどんどん広げてください。

経済学部の特徴

1 経済学と経営学の融合

国内外の経済の複雑化、企業経営の変容を踏まえ、経済学と経営学の関連性を重視して、1学科制を採用しています。経済学、経営学およびそれらの隣接領域を総合的に学習することができ、幅広い知識と深い思考力を身につけることができるよう配慮しています。

2 学士・修士5年プログラム

修士課程の科目を早期履修することで、学部・修士課程を通常より1年短縮し、通算5年で修了することができます。それにより、早期に研究者としてのキャリアをスタートさせることも、高度な専門知識を必要とする職に就くことも可能になります。

3 体系的履修と少人数教育

分野ごとに設定された4つの履修コースを参考に、関心と進路に応じて体系的に専門知識を修得することができます。少人数教育は演習を通じて行われ、指導教員と学生がテーマごとに議論を交わす対話型学習により、柔軟な思考力と創造性を養います。

4 経済界との産学連携

学外より実務の第一線で活躍する方々を迎え、実践的な教育や研究をしています。実務家と接することで、金融市場や地域経済、地球環境やエネルギーの問題にふれ、現代経済に対する理解を深めます。



経済学部が望む学生像

京都大学経済学部は、経済学・経営学的分析能力を修得できる知力と探究心を持ち、かつ、教員や他の学生と積極的に討論を重ねることにより、自主的に考え創造的な提案が行える人材に成長できる学生を求めています。以下のような学生の入学を期待しています。

- 高等学校教育を通じて広範で高度な基礎知識を身につけるとともに、論理的思考力ならびに語学能力を修得している人
- 社会・経済活動全般に積極的に関与したいと考える、知的な好奇心が旺盛な人

このような学生を選択するために高等学校の文系教育課程に対応した一般学力検査による選抜(190名)だけでなく、理系の教育課程に対応した学力検査による選抜(25名)や特色入試(25名)等を導入しています。



未来を切り拓く
柔軟な思考力と豊かな創造力を培う



学びの紹介

9つの入門科目

ミクロ経済学

「ミクロ経済学」は市場のメカニズムに基づき、経済行動を分析する学問です。ミクロ経済学の起源は19世紀から20世紀にかけて登場した最大化原理を基礎におく完全競争モデルです。しかし現代経済は巨大企業の寡占化の様相が強くなり、完全競争モデルの虚構性が指摘されています。そこで登場したのが、将棋などにたとえて意思を戦略的に決定していく「ゲーム理論」です。現代ミクロ経済学は、このゲーム理論を中心に据えることで、医療・福祉経済学、マーケティング経済学、情報・通信経済学、都市・交通経済学、企業・組織経済学、環境経済学など、最先端をいく応用経済学の基礎ツールとなっています。

経営学

「経営学」は幅広く、経営現象を研究する学問です。「経営」とはある目的を達成しようとする事業について、それを計画・指揮・管理する活動です。その対象は従来、民間企業が中心でしたが、近年は病院や政府、地方自治体やNPOなど、経営の質が問われる社会的事業体にも広がっています。また、企業においても自社の利潤追求だけでなく、ステークホルダーとよばれる多くの人びとに利益をもたらすことが求められ、その経営システムは複雑化する一方です。その最適解を研究する経営学の理論体系も複雑化しています。このように実践の場でも、理論研究の場でも、難問・難題が山積していますが、そこに〈経営する〉醍醐味があるのも事実です。

基礎統計学

統計学はかつて、国家為政者へ行政に必要な資料を提供するためにあり、その目的は人口、所得、耕地面積等の数値を収集・整理し、国力を測ることでした。ただし、現在はデータの幅も広くなり、行政はもとより商業、あるいは株式や為替といった投資の判断材料になるなど、さまざまな場で応用されています。これらをふまえ、「基礎統計学」の授業では、記述統計学と数理統計学によって成り立つ2領域を主に学びます。記述統計学では物価指数など、実務で使用する多くのツールを学習します。数理統計学ではデータに関する多様な推定、仮説に関する検証を数学的に学びます。

経済学と経営学を横断して学ぶために双方の基礎と土台を固める

京都大学の経済学部は、かつての経済学科と経営学科を統合した経済経営学科の1学科制であり、社会で密に関連しあう両学問を横断して学びます。ただし、それには経済学と経営学、双方の基礎を固める必要があり、1年次に9つの入門科目を学びます(以下は各科目の学問概説)。

マクロ経済学

「マクロ経済学」は経済活動を大きな視点から分析する経済学の1分野です。その大きな視点とは、分析対象が特定の個人、企業、産業の経済活動ではなく、国家経済や世界経済を見通すことを意味しています。そこで課題となるのは、なぜ経済は好況と不況を繰り返すのか、政府は景気の変動を抑制するためにどのような政策を採ればよいのか、なぜ先進国は産業構造の転換を果たし所得の増大を達成できたのか、それに対して多くの発展途上国が農業中心の経済構造から脱却できず低所得の状態にあるのはなぜなのか、等々の疑問です。マクロ経済学が取り組むのは、これらの疑問に正確な答えを与えることにはなりません。

会計学

「会計学」は〈事業の言語〉とよばれる会計を対象に発達した学問です。また、会計学は事業者の現象を正確に理解するとともに、望ましい会計について考える学問でもあります。こうした会計は、社会会計・国民経済計算などの「マクロ会計」、家計・企業会計・非営利法人会計・公会計などの「ミクロ会計」、2つに大別されます。さらに会計情報の利用者ごと、企業外部の株主や債権者などに対する「財務会計」、経営者などのための「管理会計」、2つに分類されており、それぞれに対応するため、財務会計学と管理会計学、2つの学問分野が発達しています。

現代経済事情

人間の社会を扱う以上、経済学は経済的・社会的問題の解決という目的意識をつねにもつべきであり、その概念は「政策関心」と言い換えられます。「現代経済事情」で講義する経済政策論、財政学、金融論、社会政策論、世界経済論、公共経済学などには「現代の社会問題や経済問題を素材に考える」という共通項があります。また、経済問題に対しては通常、さまざまなアプローチがあり、複雑な社会現象そのものを理解するには、総合的・多面的な分析視角が必要です。「現代経済事情」の諸講義に共通する狙いは、現実の経済問題などへの感受性と複眼的な視点を養うことにあります。

社会経済学

「社会経済学」はスミス、リカード、マルクスなど、古典派と呼ばれる人たちの理論の総称でした。彼等は経済分野だけでなく、政治や文化などの分野にも広がる社会的視座をもつと共に、数世紀におよぶ歴史を考察する長期的視野をもっていました。しかし20世紀に入ると大量生産技術の成立といった技術面の変化、巨大企業の出現といった組織面の変化により、古典派経済理論の有効性は低下しました。こうした資本主義の変化をふまえ、新たな理論を創出したのがケインズとカレツキです。現代の社会経済学は、古典派経済学者たちの社会的歴史的視点とケインズおよびカレツキの理論を結合し、現代資本主義の構造や制度を分析していきます。

情報処理

「情報処理」は人間の意思決定活動であり、社会活動そのものです。また、インターネットやコンピュータなどの情報通信技術は、そうした活動を支える必要不可欠なツールです。さらに情報通信技術の急速な発展は社会を大きく変え、情報通信技術がなくては(知らなくては)企業の経営は成り立ちません。授業としての「情報処理」は経済学や経営学を学び、理解・分析するためだけに学ぶものではありません。コンピュータシミュレーションによって社会や組織を解析したり、あるいは未来を予測したり、経済学や経営学の根幹を見つめながら、通信をふくむ情報処理技術を習得していきます。

経済史・思想史

「温故知新」という言葉を知っていますか？そこには昔のことから新しいことを知るという意味があり、「経済史・思想史」はその意図をもつ学問です。また、経済史と思想史、ふたつの分野を並行して学ぶ意味は、現在の経済社会を歴史的に眺めることにあり、経済や社会に関する「忘れ去られた課題」を再発見し、あわせて「新しい課題」や「経済学のあり方」を構想していきます。たとえば、ある国が経済大国になる過程の分析からその秘訣や条件と問題点を学んだり、ある企業の発展・没落から経営とは何かを考えてみたり、人間が集団形成するときの諸問題を把握することで理想社会について提言したり、そうしたことに取り組みながら歴史的な発想法を身につけ、当然と想っていた日常から(新たな可能性)を発見する視座を養います。

来たれ、
学問の世界

のびのびと
学問に没頭できる学び場で
社会をシャープに分析する



大学院経済学研究科
長谷川 誠 准教授

経済学は市場やお金に関することを扱う学問だと思われがちですが、あらゆる社会現象を固定概念や通念にとらわれずに明快に分析できることが経済学の魅力です。私が専門とする公共経済学の分野では、政府の役割や様々な政策の効果、そして望ましい政策のあり方を究明します。例えば、所得税制が結婚や出産のタイミングに与える影響など、一見すると経済とは無縁に思える意思決定も研究の対象となり、望ましい税制を考察することに役立ちます。

公共経済学は、経済学の基礎理論であるミクロ経済学や計量経済学の手法を応用して分析を行います。基礎科目で足元を固めた上で、講義では分析ツールとなる公共経済学の理論を身につけてもらいます。とはいえ抽象的な理論を解説するだけでは、学生は退屈に感じがち(笑)。そこで、身近な政策の話題や税制を分析したユニークな研究などを例に挙げて説明して、理論と現実社会との結びつきに気づいてもらえるように心がけています。試験では

数式を用いて政策を分析するような問題を出題しますが、驚くほど緻密に理論立てて自分の考えを説明できる学生もいて、答案を読む私の方が驚くこともあります。経済学の有用性や分析の面白さを実感できるようになるまでには、地道な努力が求められますが、大学生ならではの自由な発想と好奇心がその歩みを後押しするはずですよ。

大学での4年間を「社会に出るための準備期間」ととらえる考え方もありますが、政治や経済の中心から一步離れた京都には、東京とは違う良さがあります。社会の動きに振り回されず、自分の興味や関心にじっくりと向き合えます。のびのびと探求できるこの学び場は、学生にとって何ものにも代えがたい貴重な環境です。

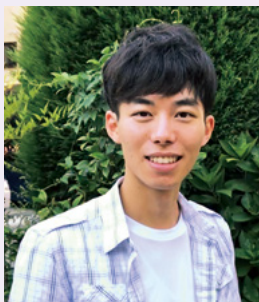
先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

2021年3月 経済学部卒業

自分の興味や関心を
受け入れてくれる場所

経済学部のいいところは、学べる範囲が広く、自らが興味を持ったものをとことん追求できることです。その分自分のしたいことを見失う可能性もありますが、自らの行動を受け入れ、評価してくれる環境は非常に得難いものだと感じております。余裕を持った時間割が組めるので、他学部の授業を聴講しやすい部分も魅力的です。



中沢 和哉さん
大阪府
明星高等学校 出身

在校生

経済学部 経営経済学科
3 年生

意欲の高い仲間と囲まれ、
力を磨ける環境です

自分の興味分野を追求する際には周囲の環境が大切だと思いますが、その点で経済学部は非常に魅力的です。実際周りには意欲高く学ぶ学生が多く、ゼミでの活動も積極的なので、自分も周りに刺激され色々なことに興味を持って取り組んでいるように感じます。また、比較的自由に履修が組めるので、これから興味分野を見つけることも十分可能だと思います。

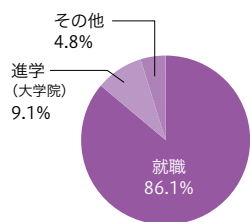


坂元 里央さん
愛知県
愛知県立一宮高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 京都大学の経済学部は、学界のリーダーとなる多数の優れた研究者をはじめ、世界・実業界のトップリーダーも数多く輩出してきました。なお近年の大学院進学者は1割前後であり、9割前後が就職します。就職先としては、金融庁や外務省、会計検査院、総務省、日本銀行などの官公庁の他、金融・保険・証券業が主流でしたが、この数年は業種・業界を問わず幅広く広がっています。

2020年度 卒業生の状況



■就職先の例 ㈱三井住友銀行/㈱三菱UFJ銀行/農林中央金庫/野村証券(株)/ゴールドマンサックス/JPMorgan証券(株)/パークレイズ証券(株)/ポストン・コンサルティンググループ/マッキンゼー・アンド・カンパニー/伊藤忠商事(株)/住友商事(株)/三菱商事(株)/日本生命保険相互会社/東京海上日動火災保険(株)/三井住友海上火災保険(株)/トヨタ自動車(株)/パナソニック(株)/ソニー(株)/西日本旅客鉄道(株)/東海旅客鉄道(株)/日本航空(株)/㈱野村総合研究所/有限責任監査法人トーマツ/有限責任あずさ監査法人/EY新日本有限責任監査法人/アクセントチュア(株)/日本放送協会 財務省/経済産業省/厚生労働省/国土交通省/金融庁/各府県庁・市役所 など

理学部

Faculty of Science

■ 理学科

ここに注目

▶ 自然の〈秘密〉を解くことを楽しむ学部

自然はどのようになっているのか、なぜ自然はそのように成り立っているのか、自然を動かす法則は何か、私たち人間はつねつねこのような疑問を抱きます。京都大学の理学部は、誰も答えを教えてくれない自然への疑問をもつ人たちが集まり、自然の声に耳を傾けながら疑問を解いていくとともに、どこまでも深い自然の〈秘密〉を探り続けることを楽しむ学部です。

▶ 従来の枠組みにとらわれない人材を育成

京都大学の理学部は理学科のみの1学科制です。この制度の意図は、分野・領域が多岐にわたる理学を学ぶ過程で発見した自身の適性に応じた専門選択を可能にするためであり、あわせてそうした自由性により、従来の学問分野の枠組みにとらわれない人材を育成することも狙っています。

▶ 教育の基本方針は個々の意欲の尊重

京都大学の理学部では3年次から5学系のいずれかに選択分属し、少人数でのゼミや実験・実習などの研究活動を通じて専門知を獲得します。その間、もっとも大切なのは〈自ら学ぶ意欲〉にほかなく、その尊重と伸長を教育の基本方針としています。

▶ 数多くの独創的な研究者を輩出

京都大学の理学部はノーベル賞やフィールズ賞など、国際的トップレベルの賞の受賞者をふくめ、これまで数多くの著名かつ独創的な研究者を輩出してきました。あわせて、自ら開拓した新たな研究分野に挑み続ける〈革新〉の伝統はいまも息づいています。こうした学問の創造や開拓は、研究・教育への自由性が育んだ結果です。現在、計画・遂行されている新たな研究プロジェクトも数多く、学生の教育にフィードバックされる先端知も決して少なくありません。

理学部の特徴

1 明確な目標に基づく創造性の養成

京都大学の理学部は、学生を次代の自然科学を担う人材に育むことをめざし、2つの具体的な教育目標を掲げています。

- ①自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力を養成する。
- ②個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力を養成する。この教育目標に基づき、自由な雰囲気による学問創造と自律学習を促しながら、理学科のみの1学科制ならではの〈緩やかな専門化〉を経て、研究の最前線へと向かいます。

2 当初2年間で教養と専門性の基礎を培う

京都大学の理学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学び、あわせて学部の「専門基礎科目」を履修します。「全学共通科目」は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群、計8科目群に分類されています（自然科学科目群には理学部教員が担当する科目も多数です）。学部「専門基礎科目」は3年次から所属する学系での専門的な学びや研究の土台になります。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人間的な視野を広げます。

3 自然科学の先端知を獲得する5学系

2年次の終わりに選択・登録し、3年次から所属する5学系は、それぞれ概ね次のような専門分野と対応しています。また、各学系では演習（ゼミ）や実験・実習をふくむ専門科目を履修、京都大学の理学部が蓄積してきた先端知の獲得をめざして学びます。

- 数理科学系……数学 ●物理科学系……物理学／宇宙物理学
 - 地球惑星科学系……地球物理学／地質学・鉱物学
 - 化学系……化学 ●生物科学系……動物学／植物学／生物物理学
- ※各学系の詳細は46ページ参照

4 卒業研究に取り組む4年次

4年次の卒業研究は必修となっており、課題研究に取り組みます。その際、学生は担当教員から個別に指導を受け、研究手法を身につけながら課題を追究し、その結果をまとめる能力を養います。これらを通じ、より高度な専門研究への意欲を高めることを期待しています。

5 学部3年次の修了による大学院進学

理学部と接続する大学院「理学研究科」の数学・数理解析専攻と化学専攻では、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績で修得したと理学研究科が認めた者には、大学院修士課程の出願を認めています。また、博士後期課程で特に優れた研究成果を挙げた者については、修士課程と通算5年未満の在学中で博士の学位が授与されることがあります。

理学部が望む学生像

- 自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢をもつ人。
- 高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人。



桜石(重晶石仮像)・日本地質学会が選定した京都府の石(鉱物)

自然への疑問に向きあいながら 自然の理(ことわり)を学ぶ



5学系の紹介

数理科学系

高等数学の基礎を学びつつ最新の数学理論も探究する

数学は、数、図形、数量の変化などの背後にある法則の解明をめざす学問であり、永年におよぶ時間をかけて、確固とした体系を築いてきました。その一方で、現在でも多くの新しい問題が数学の内部から、あるいは物理学、地球惑星科学、化学、生物科学などの他科学から続々と生じ、それらを解明するための新たな理論が創出されています。また、普遍的な性質をもつ数学は、自然科学はもちろん、情報科学や経済学など、多くの分野とも密につながっています。これらを背景に「数理科学系」では、20世紀前半までに確立した代数学、幾何学、解析学の基礎を広く学習するとともに、最新の数学理論も探求します。

物理科学系

理論・実験・観測を並行しながら幅広い研究と教育を展開

物理学は自然界の普遍的な法則を明らかにし、物質の種類や時間・空間・エネルギーのスケールのちがいによって生じる多様な現象を統一理解することをめざしています。これを前提に「物理科学系」は3教室に分かれています。第一教室では主に量子や物質、それらの集団を支配する物理法則を、第二教室では時空の基本構造から素粒子、原子核、重力、宇宙論までについて、宇宙物理学教室では太陽から最遠方銀河まで宇宙の多様なスケールの諸現象について、それぞれ理論、実験、観測等を並行しながら幅広い研究と教育を行っています。

地球惑星科学系

身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象の教育・研究に挑む

「地球惑星科学系」は私たちが生活する地球、その地球を取り巻く惑星間の空間、これらを研究対象としています。ターゲットは幅広く、雲の動きを引き起こす大気の流れ、大量の熱を蓄えている海の流れ、地震を起こし火山をつくる地球内部の変動、オーロラをもたらす太陽からの粒子と地球磁場、ヒマラヤをつくり南米とアフリカを引き裂いたマンツルの流れ、ダイヤモンドをつくり出した高温・高圧の世界、35億年前「らん藻」として存在した生物はいかなる変遷を経て、いまの現存生物になったのか、ほかの惑星には生物は存在したのか(するの)などであり、誰もが抱く身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象に関する教育・研究に取り組みます。

化学系

自然界の理解をベースに有用な新物質の創造をめざす

化学は原子・分子のレベルで物質の構造、性質、反応の本質を明らかにし、それに基づいて自然を理解しながら、有用な新物質の創造をめざす学問です。この「化学系」では原子、分子、生命から宇宙まで、自然界に存在するあらゆる物質を研究対象にしています。知的探求の場としては広大なフロンティアがあり、研究方法やスタイルも合成、分析、測定などの実験が主の分野から、理論と計算が主の分野まで、テーマ等によって大きく異なります。このように研究の対象や方法のバラエティが豊かなことも化学の大きな特徴であり、学生は個々の興味・関心や将来の目標にあわせて、自身に最適な研究分野を選べます。

生物科学系

多様なアプローチと方法論を駆使し、生物と環境を統合的に理解する

「生物科学系」の研究対象は、地球の多様な生物の存在様式や生命現象です。マクロ的な視点からは生態学や行動学、系統分類学、人類学、自然史、野外研究などに重点をおいた研究を展開し、生物の進化や多様性の機構を明らかにします。一方、さまざまな生物のゲノムが解読されたいま、ライフサイエンスはポストゲノム時代に入り、新しい研究の方向性が求められています。ミクロ的な視点からは動物や植物の細胞生物学、発生生物学、分子生物学、構造生物学、神経生物学の独創的な研究により、多彩な生命現象を分子レベルで解明します。このようにミクロ・マクロの両視点から多様な方法論を駆使し、生物を環境と合わせて統合的に理解することをめざします。



数理科学系の講義風景



3.8メートルせいめい望遠鏡(岡山県に設置)



課題演習(3年次)で訪れた阿蘇山中岳第1火口での湯だまり観測

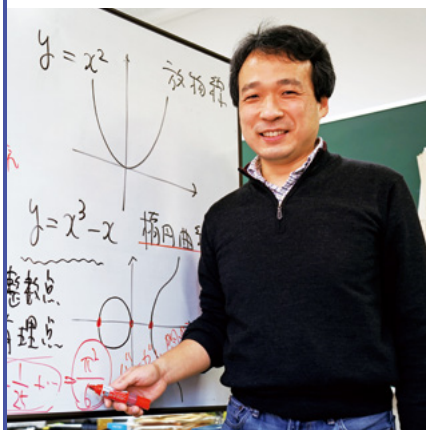


化学系の実験風景



専門実習風景

ゆるがない論理を
堅実に積み上げて
前人未到の山頂をめざす



大学院理学研究科
伊藤 哲史 准教授

難しく、役に立たないと敬遠されがちな数学。しかし、人工知能の仕組みに合成関数の微分法の公式が応用されるなど、新しいシステムを生み出す土台に数学の存在は不可欠です。将来、この世にない新たな仕組みをみずから創出したいと望むなら、数学の考え方はおおいに役立つでしょう。

数学は「論理」の学問です。問題を解決するため、一つひとつ論理を積み上げながら、答えに近づいてゆきます。暗中模索を経て、新たな式の一つ書いたとき、霧が晴れたようにゴールまでを見通せる瞬間があります。一方、問題そのものの発見も数学の醍醐味です。知識や経験はもちろん、「おもしろそうだ」という感性も頼りに、未知の法則を探っていきます。

数学という学問はときに登山にたとえられます。パターン化した解法をなぞりがちな高校までの数学とは違い、「答え」という山頂に到達する道は一つではありません。まっすぐに進むこともあれば、遠回りをすることもあります。山頂だと思っていた場所が、実は、大山脈の登山口にすぎ

なかった、なんてことも。登山ルートを選び方には研究者の個性が表れます。数学の研究というと、一人もくもくと机に向かう印象があるかもしれませんが、私たちは毎日のように世界中の研究者と議論を重ねています。数学には、特殊な実験設備は不要です。いつでもどこでも研究でき、国籍や性別、年齢の区別なく、誰にでも開かれているのは大きな魅力です。

京大理学部は必修科目は外国語科目と卒業研究科目だけです。「好きに選べる」というのは意外と難しく、与えられた課題をこなすほうが楽だという声もあるかもしれません。しかし、せっかくならこの〈放任主義〉をいかして、試行錯誤しながら目標を見つけてほしい。主役はあなたたち。教員はよるこんでサポートします。数学が好きな皆さんには、フィールズ賞受賞者による特別講義など、第一線の研究にふれる機会も設けています。先輩たちは、好奇心に忠実に己の道に没頭するおもしろさを背中であげてくれるでしょう。山頂への一歩を踏みだしていきましょう。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

マイクロメモリジャパン合同会社
2021年3月 理学研究科 生物科学専攻 生物物理学系 修士課程修了

未知なる自分の興味を
教えてくれた理学部

京大理学部には分野を超えて開かれた学術環境が用意されています。ここで私は幅広い分野の研究に触れるうちに生物への興味が湧き、高校で全く学ばなかった生物学を専攻しました。重要なのは知識よりも好奇心です。好奇心を片手に寄り道してみることで知らなかった自分の興味を見つけられるのが京大理学部であり、そのような寄り道ができることこそ京大理学部の特長だと思います。あなたもこの自由な科学の世界に飛び込んでみては？



藤井 研吾さん
富山県
富山県立富山高等学校 出身

在校生

理学部 化学系
4回生

「おもしろい」、「知りたい」に
とことん向き合える場所

専攻に縛られず、幅広い分野を学ぶために理学部を選びました。様々な分野の授業を受けた上で、一番面白い、より深く追究していきたいと思う分野を選べることは魅力的でした。現在は、多様な考えを持つ友人と交流し、先生や先輩から丁寧に指導してもらえる恵まれた環境で、自分が関心を持った研究ができることに充実感を覚えています。皆さんも、理学部で面白いと思えることを見つけてみませんか？

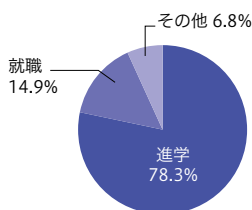


原田 布由樹さん
福岡県
福岡県立筑紫丘高等学校 出身

卒業後の進路

■進学 理学部では例年8割ほどの学生が本学「理学研究科」などの大学院に進学します。あわせて例年100名ほどが博士(理学)の学位を取得します。民間企業に就職するのは例年1割ほどですが、その多くが専門性を活かし、研究開発・技術職に就いています。

2020年度 卒業生の状況



■就職先の例 (株)ウィザス/(株)SHIFT/コムシス情報システム(株)/気象庁/三井生命保険(株)/(株)北陸銀行/(株)オブジェクトデータ/(株)ソフテス/(株)サンジゲン/海上自衛隊/(株)シダ/フォルシア(株)/(株)ウィルウェイ/本田技研工業(株)/サービス&セキュリティ(株)/(株)リオ・ホールディングス/みずほ証券(株)/(株)日本政策投資銀行/三井住友信託銀行(株)/マニユライフ生命保険(株)/東京海上日動火災保険(株)/神奈川県教育委員会/名古屋学院/オリックス生命保険(株)/LINE(株)/富国生命保険相互会社/(株)ウィルゲート/大阪市/トアア再保険(株)/(株)りそな銀行/(株)リクルート/EYアドバイザリー・アンド・コンサルティング(株)/(株)口ゴス/日本銀行/(株)朝日新聞社/愛知県/(株)みずほ銀行/西日本旅客鉄道(株)/大東文化大学第一高等学校/金融庁 など

■取得可能な資格 理学部は教育職員免許状の高等学校教諭一種免許状(数学・理科)と中学校教諭一種免許状(数学・理科)の課程認定を受けています。また、所定科目の修得により学芸員の資格も取得できます。なお数理学系、物理学系、地球惑星科学系は測量法施行令第14条第1項が規定する「相当する学科」として認定されており、所定科目の修得により測量士補の資格を取得することが可能です。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種……数学/理科 高等学校一種……数学/理科

医学部医学科

Faculty of Medicine

ここに注目

▶ 個性豊かな創造性の涵養をめざして

京都大学医学部は、医療の第一線で活躍する優秀な臨床医、医療専門職とともに、次世代の医学を担う医学研究者、教育者の養成をその責務としています。京都大学医学部が育てるのは、単に既存の知識を応用して医療にあたるだけでなく、病気など医学事象の背後にあるものを見抜き、自分の頭で考え、新たな知を創出できる人間、また、広く社会と人間行動を理解し病める人の感情を洞察できる人間、社会全体の健康をめざし高い倫理観を持って行動する人間です。

また、これを人類すべてに発信できる国際性豊かな人間を育てることも、我々の使命です。

▶ 日本・世界をリードする医師・医学研究者の養成

京都大学医学部医学科では、日本だけでなく世界をリードする医師や医学研究者を養成すべく、6年間のカリキュラムを通じて基礎から最先端まで医学全般を広範に学びます。

基礎医学では、生命科学ならびに解剖学・生理学・病理学などを学びます。社会医学では、疫学、公衆衛生、環境、医療統計などを学びます。臨床医学では、内科学、外科学をはじめ小児科学、産婦人科学、精神医学、救急医学といったすべての臨床医学の分野について、基礎となる理論(講義)と実際の医療現場での活用(実習)を学びます。

医学部医学科の特徴

1 医師や医学研究者の養成

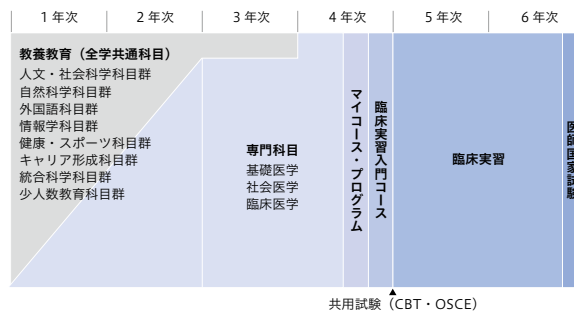
医学部のカリキュラムは、医師や医学研究者を養成するための講義と実習などを基本とします。すべての授業が必修科目で、6年間の授業で、医学全般を学び、経験します。基礎医学では、生命科学ならびに医師に必要な解剖学・生理学・生化学・病理学・法医学などを学びます。社会健康医学では、個人に対する医療だけではなく、社会全体に対する医学の応用を学びます。臨床医学は、すべての臨床医学の分野について、授業と臨床実習を通じて、基礎となる理論と実際の医療現場での活用を学びます。これらを通じて卒業認定後に、医師国家試験の受験資格が与えられます。また、MD-PhDコースなど、研究に専念することを希望する学生には、研究者になる種々の道が用意されています。

2 学生個々の資質を最大限に伸長

京都大学医学部医学科では、個々の学生の、医師、医学研究者としての資質を最大限に伸ばし、医療や医学研究の分野で活躍できる、すぐれたリーダーを養成することをめざしています。

「医師」には専門知識の習得と同時に、その知識を論理的に使って問題を解決する能力や、病める患者さんと向き合って病気を治療する感性豊かな人間性および人間そのものに対する深い洞察力が必要とされます。また、なによりも、人びとの健康を増進し、病める者を救おうという強い情熱が必要です。一方で、病気の発生機序の解明、新しい診断法や治療法の開発などをめざす医学研究も重要です。また、医療制度が拠って立つ社会への深い理解も重要です。京都大学医学部医学科は、このような分野ですぐれた医療人を育成することをめざしています。

「医学研究者」には、新しい知を開拓するための情熱と、卓越した能力が必要です。京都大学には、国際的にも卓抜した研究業績を有する指導者が集まっており、研究開発のできる人材を育成する環境が整えられています。



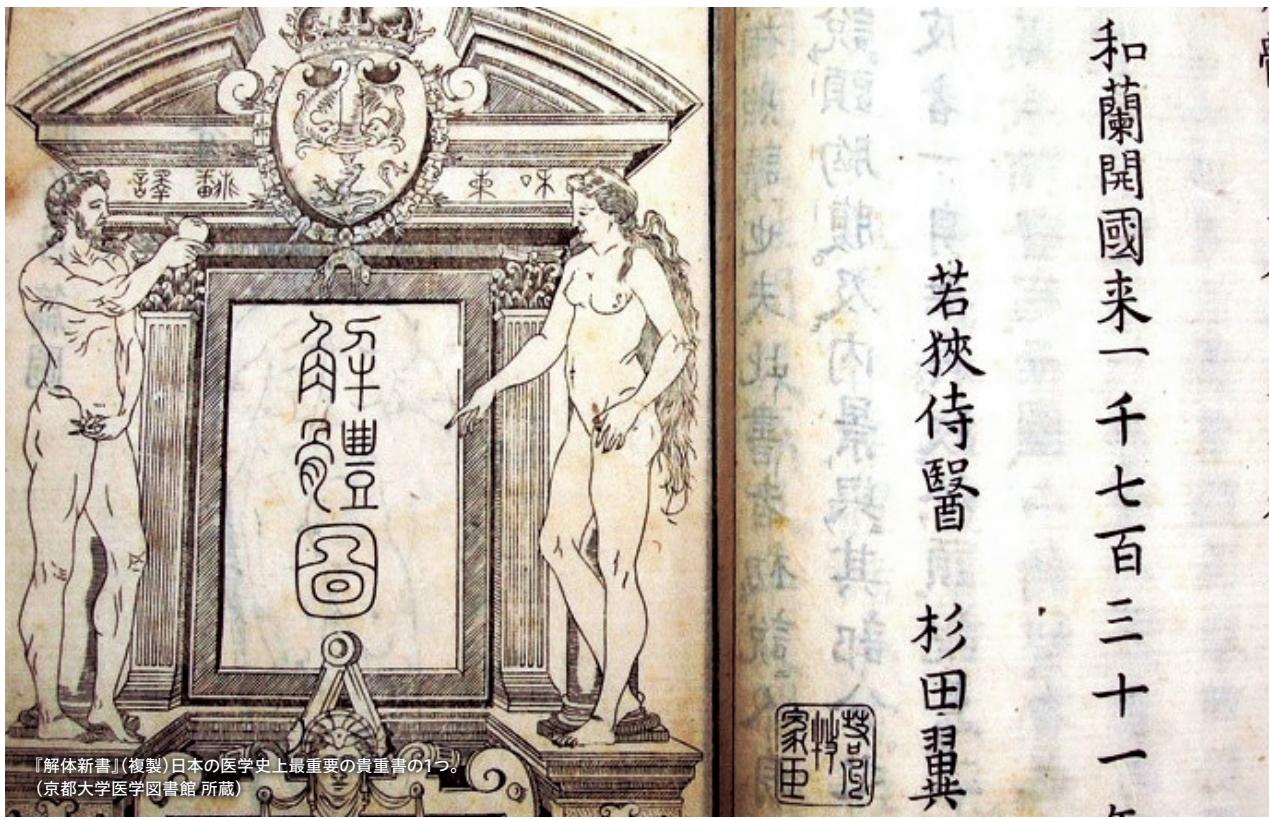
3 医学研究者を育む「MD-PhDコース」

京都大学医学部医学科には、基礎医学研究者を育成するための道として「MD-PhDコース」が用意されており、早期に研究の機会を得ることができます。本コースには、4年次終了時点で学部を休学して大学院博士課程に進学、医学博士の学位を取得後、学部5年次に復学するコース(学部挿入型)と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程に進学、最短3年で医学博士の学位を取得するコース(卒業進学型)があります。

医学部医学科が望む学生像

京都大学医学部は、1899(明治32)年に京都帝国大学医科大学として創立された百有余年の歴史と伝統をもつ医学部として、世界に誇る指導的な医学者、医学研究者を輩出してきました。医学部医学科は、京都大学が創立以来築いてきた自由の学風を継承し、医療の原点である「人を愛する」精神のもと、学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しています。このような方針を踏まえ、世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、以下のような学生の入学を期待します。

- ① 自ら課題を発掘する好奇心や探究心、それを解決しようとする主体性を持っている人
- ② 高い倫理性と豊かな人間性を備え、他者との協調性を持っている人
- ③ 優れた知的能力とともに、国際的視野を持っている人



新たな知を創出する視座、
 事象の背後に潜む真理を見抜く眼力、感情を読み取る洞察力。
 厳しくもあり、慈愛にも満ちたそのまなざしを育むのは、
 自信に裏打ちされた人間力



基礎医学

医学を多角的に掘り下げる医学者・医療人を育成

入学当初は教養教育を軸とする「全学共通科目」の履修が主体となります。並行して、医療人の素養を育む取組や研究マインドを育成するチャレンジが始まります。国際的に活躍する医学者・医療人を育成するために、外国人教員による英語での生物学授業も用意されています。なお、「全学共通科目」は3年次での履修も可能で、グローバルに活躍する人材を育成するために、医学科所属の外国人教員が担当する医学関連の英語セミナー（ILASセミナー）の履修を推奨しています。

基礎医学の履修は、2年次途中から本格的になり、生命科学の深淵にふれる学習を、さまざまな面から掘り下げて深めていきます。同時に、京都大学では、多くの学生がさまざまな研究室で研究に参加しています。世界的な先進的研究を行っている研究室が多く、身をもって最新の医学研究を体験できる機会となっています。このため、早い時期から海外で研究を行う学生も少なくありません。



臨床医学

的確な判断力と責任感、使命感を宿したリーダーを

臨床医学は主に3年次後半から4年次の授業で学び、5・6年次では病院での実習を行っています。京都大学では、2014年度から新しい実習カリキュラムを導入し、単に医学知識を習得するだけではなく、臨床の現場に適応し、責任をもって診療できるリーダーとしての人材を育成することをめざし、参加型に重点をおいた実習を実施しています。実習は医学部附属病院だけでなく、学外の実習病院でも

行われ、そこでは第一線で医療に携わる経験豊かな医師が臨床教授として学生教育にあたり、豊富な臨床経験に基づいた少人数教育が行われます。このような密度の濃い臨床教育を通じて、最新の医療とその発展に貢献できる人材育成を目指しています。

医学部附属病院

最先端の医療を提供し、良医を育む場

京都大学医学部附属病院(京大病院)には、世界や日本の医学をリードする医師が数多くいます。また、近年は多くの新しい部門・設備も整えられています。例えば基礎医学との橋渡しとしての臨床研究センターが役割を果たし、いち早く患者さんに最先端の医療を届けています。また、地域の医療機関との連携により医療の効率を上げる地域医療ネットワークも機能しています。初期診療・救急医学の部門も整備され、多くの救急患者さんを助けています。京大病院には移植医療や、分子治療、あるいはiPS診療部など最先端の医療があり、世界の最前線を経験できます。がん専門病棟も整備され、診療・治療・教育の場として充実した施設です。



基礎医学研究者の育成

医学のさらなる発展と未来を見つめて

京都大学医学部医学科では、基礎医学研究者を育成するための道が種々用意されています。

●**基礎医学研究者育成プログラム** 東京大学、大阪大学、名古屋大学、京都大学、4大学の合同で、長期的視点に立った基礎医学研究者の育成プログラムを開発すべく、医学分野における教育体制の強化と研究の活性化に取り組んでいます。

1年次全員を対象としたプライマリーコースはカリキュラムに組み込まれており、アドバンスドコースでは選抜された学生20名程度を対象に、論文精読会や基礎医学セミナー、ラボ・ローテーションでの研究成果発表、短期海外留学や学会参加へのサポート、4大学合同リトリート、コンソーシアムを組む連携大学(福井大学・滋賀医科大学・神戸大学・京都大学)間でのリトリート・交流会を行っています。

●**ラボ・ローテーション** 1年次後期から研究室をまわり、研究活動に参加します。ラボ・ローテーションを通じて医学研究のさまざまな分野と手法を広く見聞・体験しながら、研究者としての適性を判断し、性分にあった実験手法と研究分野を見いだすことを目的としています。

●**MD-PhDコース** ラボ・ローテーション、ラボ配属を経て、医学研究者を目標に定めた学生が早期に研究の機会を得ることができるコースです。4年次修了時点で学部を休学して大学院博士課程へ進学、医学博士の学位(MD-PhD)を取得後、学部5年次に復学するコース(学部挿入型)

と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程へ進学、最短3年で医学博士の学位(MD-PhD)を取得するコース(卒後進学型)があります。



研究マインドを忘れずに、 「未来の医学」を 変える人材に



大学院医学研究科
小西 靖彦 教授

医学部の必修科目はカリキュラム全体の3分の2を占めます。学生たちはどうしても時間に追われがちですが、考え方を変われば、3分の1は自由に学べる時間。京都大学医学部は、学生がその時間を最大限に活用できる舞台を毎年用意しています。

一つが、4年次の「マイコース・プログラム」。最短で8週間、希望する学生は最長で4か月にわたり、国内外の研究施設に滞在してそれぞれの関心にそったテーマを研究します。約3割から4割の学生は、海外の研究施設で現地の研究者と肩を並べた研究活動に挑戦しています。

もう一つは5、6年次の「臨床実習」。学生にはできるだけ多様な経験をもちかえってほしいので、西日本を中心とする日本各地の臨床病院に少人数に分けて派遣します。6年次は学生がみずから実習先を選ぶので、なかには海外の病院で現地の患者さんを相手に臨床経験を積む学生もいます。専門知識、語学力ともに相当高い

レベルが求められますが、日本にとどまっているのではなく、世界に出て多様な文化を体感することで、医学の(いま)を知ることができるのです。

だいたいにしてほしいのは「基礎研究のマインド」です。臨床医学に進んだとしても、未知への探究心をもちつづけ、つねに世界を視野に入れて活動してほしいですね。私はカリフォルニア大学に留学しましたが、アメリカの医学部教育はゴールが明示されていて、様々な背景の学生がそこに到達しやすいようにマニュアル化されています。いっぽう日本は、茶道や華道、柔道でみるように、その修練の過程を重んじます。どちらがよいとは一概にはいえません。異なる文化を知ること自国の魅力を再確認できますし、理解しあうにはコミュニケーション能力も欠かせません。京都大学に入ったからには志高く、医学の未来を変える国際的な人材に育ってほしいのです。

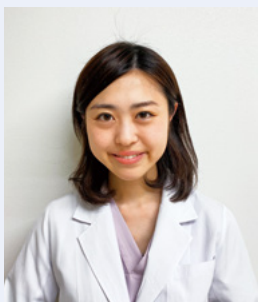
先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

京都大学医学部附属病院 研修医
2020年3月 京都大学医学部医学科 卒業

自らの疑問と社会をつなぐ チャンスが無尽に広がる場

高校生の時にオープンキャンパスに参加し、「知」の蓄積と歴史が感じられるキャンパスの中で最先端の研究が進んでいく環境に感動し、京大の医学部に入学しました。急速な技術発展の中で「いのち」という複雑なものに向き合う医学・医療は、独立した分野として成立するものではなく、様々な分野との連携が必要です。総合大学である京大では、多様な分野の先生方や同士と出会い学ぶ機会が溢れています。在学中は、プータンの病院見学やカナダへの研究留学、また2025年大阪・関西万博誘致活動などの課外活動を経験し、自らの疑問を社会に問いかけていくことを意識しました。京大で得た学びを活かしながら、自分なりに社会に貢献していきたいです。



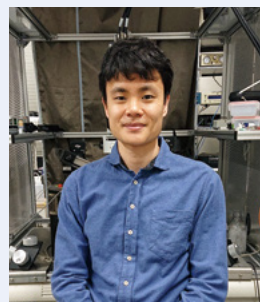
九野 絢子 (旧姓:川竹)さん
愛知県
南山高等学校女子部 出身

在校生

医学部 医学科
6年生

最も身近な最大の謎、 (人体の仕組み)の探求に挑む

学習や記憶といった人間の本質に大きく関わる、脳の不思議さに興味を持ち、医学科を志望しました。現在は脳の活動を可視化する技術の開発に関する研究を行っています。大学では、高校とは違い、まだ答えがない問題に取り組むことが大切になり、医学部では、最も身近で最大の謎である人体の仕組みを探索することが出来ます。やる気と根気さえあれば第一線の研究に携わることも可能な、素晴らしい環境で皆さんと一緒に学びませんか？

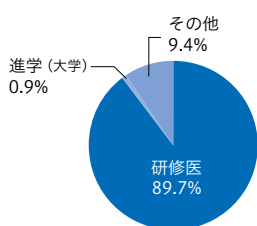


廣川 皓一さん
奈良県
東大寺学園高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 研究分野によっては大学院に進学する者もありますが、一般的には医師免許取得後、医学部附属病院あるいは研修病院において2年間の卒業臨床研修を行います。

2020年度 卒業生の状況



■取得可能な資格 医学科の所定課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者には、厚生労働省が実施する医師国家試験の受験資格が与えられます。

*医師国家試験合格者
98名 92.5%



医学部 人間健康科学科

Faculty of Medicine /
School of Human Health Sciences

ここに注目

▶ 人間の健康を科学し実践する人を育む

人間健康科学科は「健康について科学する」を教育の中心に定め、健康科学に関する幅広い知識をベースに、世界トップレベルの先端医療技術の研究・開発と、臨床フィールドでの実践において、世界を牽引グローバルに活躍できる人を育成します。

▶ 高度医療専門職リーダーの育成

先端看護科学コース、先端リハビリテーション科学コースの全学生と、総合医療科学コース内の臨床検査プログラムでは、学部・大学院の接続を強化した教育により、高い研究能力と専門性を有した将来リーダーとなりうる高度医療専門職(看護師、助産師、保健師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師)を育成します。それぞれの専門職養成プログラムには定員があり、選抜が行われることがあります。

▶ 新たな医療ニーズに応えられる研究者の育成

医学・医療に関わる基礎から先進的な医療技術を理解すると同時に、薬学、工医学、情報学など、周辺科学領域に係る高い専門性を身につけることで、先端医療技術の開発や近未来社会の医療ニーズに応えられる世界レベルの研究を牽引する研究者の育成を目指します。

▶ 実力を高める科目構成と自由なコース選択

一般入試で入学した学生は、入学後1年半は、「全学共通科目」で教養を育み、「専門基礎科目」で、医学・医療に関する共通の基礎教育を受けます。そして2年次後期から、各自の希望や適性に基づいて3つのコース(先端看護科学コース、先端リハビリテーション科学コース、総合医療科学コース)のいずれかに進み、各コースの「専門科目」で専門知識を学びます。これにより、ベースとなる医学・医療教育の拡充と、各専門性を見極めた選択が可能になります。

*特色入試で入学した学生は、入学時に希望したコースに進みます。

医学部人間健康科学科の特徴

1 大学院への接続を強化した学部教育

世界レベルの研究を牽引する研究者・教育者を養成するには、大学院の充実が不可欠です。各コースの専門性を重視した大学院教育の一層の充実とともに、各コースとも大学院への接続を意識した学部での講義や、卒業研究指導を行っています。さらに京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所などとの横断的な連携により、ビッグデータ医学、iPS細胞再生医学などの新分野での研究教育を推進します。

2 最先端の看護科学を修めた看護師・保健師の養成

「先端看護科学コース」では2年次後期から基礎看護学や地域看護学などにより、健康観や看護観を形成するための基礎的な考え方や理論を学びます。あわせて基礎看護学技術演習や基礎看護学実習で看護援助の知識や方法論を習得すると同時に、看護の臨床を経験します。3年次では発達段階や予防期からエンド・オブ・ライフ期まで幅広い健康の段階、さらに多様な療養の場に応じたアセスメント等の専門知識、援助の方法論などを専門領域に分かれて学修します。4年次では在宅と地域を対象とする実習に取り組みます。あわせて志望する研究室に所属し、教員による個別指導を受けつつ卒業研究(統合看護)を進めます。

3 先端科学の知見をもつ 理学療法士・作業療法士の養成

「先端リハビリテーション科学コース」理学療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる理学療法法の基礎的な考え方や理論を養います。3年次後期からは臨床評価実習や臨床実習を行い、理学療法の現場を経験します。臨床実習終了後は発展臨床実習や卒業研究に取り組み、理学療法を先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる理学療法士をめざします。

作業療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる健康観や作業療法学の基礎的な考え方や理論を養います。あわせて臨床評価実習と総合臨床実習を3年次後期から4年次前期の間に行い、作業療法の現場を経験します。総合臨床実習の終了後は先端作業療法学と卒業研究に取り組み、リハビリテーションを先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる作業療法士をめざします。

4 総合医療科学のリーダーとなる 研究者・医療者の育成

「総合医療科学コース」では、2年次後期からの総合基礎科目と総合専門科目の履修により、医学・医療の基礎知識に高度な専門知識を重ね、先端医療技術の開発や近未来の医療ニーズに対応できる能力を身につけます。4年次からは総合医療科学の各専門性に応じた基礎系医療科学、臨床系医療科学、理工系医療科学の各講座を構成する研究室に所属して、教員による個別指導を受けつつ卒業研究を進め、自ら見つけた課題を自ら解決する能力を養います。なお「総合医療科学コース」では所定の科目を選択して単位を修得することにより、臨床検査技師の国家試験受験資格が与えられます。

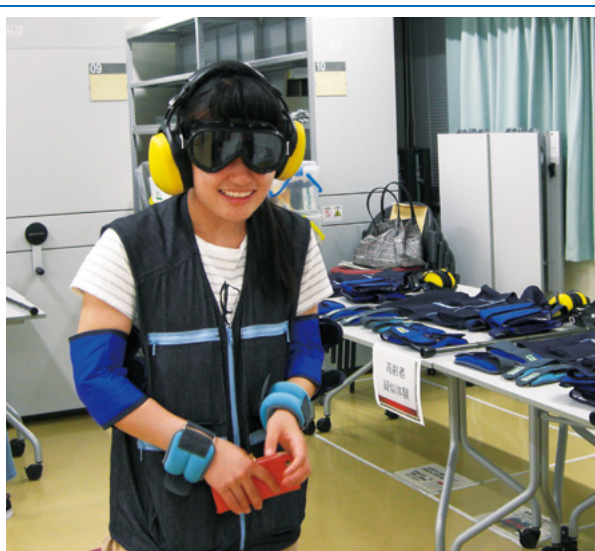
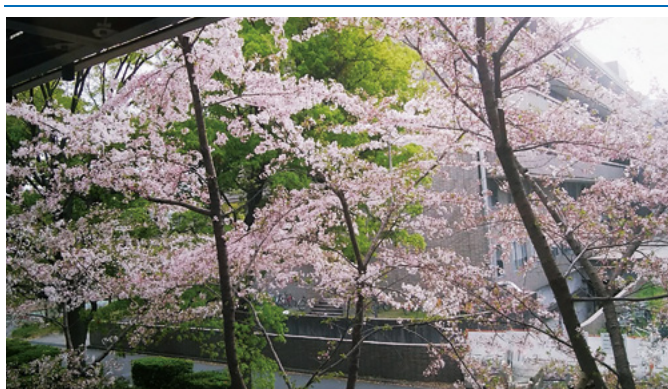
医学部人間健康科学科が望む学生像

- 未知へと挑戦する進取の気性に富む人
- 真理を追究する情熱を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を備えている人
- 優れた知識と技能及び思考力・判断力・表現力を持ち、自学自習のマインドをもつ人
- 協調性に優れ、周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- 将来、高度医療専門職、総合医療科学領域において、国内外の独創的な学術研究をリードする意欲のある人



左／臨床検査実習風景、中央上／血液寒天培地に発育した黄色ブドウ球菌、右上／家族・発達支援研究室(発達障害領域の作業療法室)、右下／MR機器を用いたリハビリテーション評価・治療

「人の心と身体を科学する」探求心を原動力に
 医療専門職にふさわしいバランス感覚、
 臨機応変に問題を解決する判断力と行動力を磨く



3コースの紹介

先端看護科学コース

看護学の対象は、あらゆるライフサイクルの個人や家族はもとより、地域や国際社会に広がっています。また、病気の人だけでなく、疾病の予防や健康増進をふくめ、あらゆる健康レベルの人々に関わります。そのため先端看護科学コースでは、既成の枠にとられない新しい発想の教育・研究を通じて、新たな領域を開拓していくことをめざします。次の3講座があり、国際的に活躍するリーダー育成を念頭に、大学院進学を推奨しています。

●**先端基盤看護科学講座** 本講座は、4分野で構成されます。生活環境看護学分野では、生活環境の調整を視点に、家政学、臨床医学などと連携しながら生体リズム学から看護介入の方法論の開発に取り組んでいます。在宅医療・認知症学分野では、超高齢社会における重要な課題である認知症の病態解明や生活習慣や生

活環境への介入法の開発をめざしています。今後ますます重要性が増す在宅医療の諸問題にも取り組んでいます。ビッグデータ医学では、データ主導型個別化医療と予測医療を実現するために、医療応用と創薬応用を目的としたシミュレーション科学とデータ科学の開拓をめざしています。看護倫理学分野では、看護実践で生じる倫理課題を通じて、よりよい患者・医療従事者関係における看護師の役割を明らかにするための研究をしています。

●**先端中核看護科学講座** 本講座は、4分野で構成されます。本講座では、人の健康は身体的・精神的・社会的・スピリチュアルなどの要因によって形成されているとの視座に立ち、成人・高齢者の心身の健康問題を扱い、専門的な視点からアセスメントする方法や援助技術の開発・教育・研究を行っています。生活習慣病看護学分野では、生活習慣病や慢性疾患の重症化予防に焦点をあて、病いと共に自分らしく生きるための看護ケアを探求しています。クリティカルケア看護学分野では、生命の危機的状態にある患者・家族の問題に対するケアの教育・研究に取り組んでいます。精神看護学分野では、

精神障がい者の回復支援だけでなく幅広い年代で健やかな心の維持向上をめざして、支援システムの開発・教育・研究に取り組んでいます。緩和ケア看護学分野では、苦痛へのアプローチとQOLの向上を中心に据え、人の根源的な苦悩に目を向けて教育・研究に取り組んでいます。大学院では高度実践研究者養成プログラム専門看護師課程にて、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、精神看護、がん看護の専門看護師を養成しています。

●**先端広域看護科学講座** 本講座は、3分野で構成されます。小児看護学分野では、子ども・家族主体の看護を理念に、様々な健康問題をもつ子どもがいつでも、どんなときでもその子らしく成長・発達することを支える看護実践を教育・研究しています。周産期医学分野では、周産期医療・助産分野における各種ケアの有効性と安全性に関するエビデンスを構築する研究者の育成と、高度な実践力を備えた助産師の育成を行っています。地域健康創造看護学分野では、地域の人々の健康とwell-beingの実現をめざし、ヘルスニーズの明確化から保健活動・事業・施策の創出に至る広域的・創造的な看護実践を教育・研究しています。

先端リハビリテーション科学コース

理学療法学講座

理学療法は日常生活に必要な基本動作能力に障害がある人々、または障害を引き起こす可能性のある人々が社会生活に適応するために必要な援助・治療技術を提供する実践科学であり、それらの技術を提供する医療専門職が理学療法士です。少子高齢化が進む今日、理学療法士の職域は医療機関だけでなく、地域における保健・福祉の分野にも広がっています。

そのため理学療法士には、医療・保健・福祉を横断する専門職にふさわしいバランス感覚が求められています。また、自由裁量に基づく判断と行動が必要とされる理学療法士には、専門的な知識や技術を習得するだけでなく、科学的根拠に基づいて行動し、問題を解決する能力と豊かな人間性が不可欠です。先端リハビリ

テーション科学コースでは、こうした社会的ニーズに応えられる高度医療専門職としての理学療法士の育成に向けた教育を行うと共に、日本と世界の理学療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざし、理学療法学講座を設置しています。

●**理学療法学講座** 京都大学医学部附属病院で最先端医療にふれながら行う臨床教育を通じ、科学的な根拠のある医療(Evidence Based Medicine: EBM)に基づく判断力と柔軟な対応能力を養います。また、基礎教育科目や卒業研究などを通じ、科学的な思考力と実践的な問題解決能力を養います。これらのカリキュラム設定は大学院への接続を意識しており、大学院に進学することで、さらに理学療法領域のリーダー



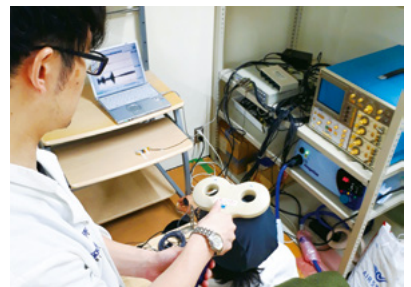
をめざした研究に取り組むことができます。そうした道を歩んだ卒業生も数多く、大学病院や臨床中核病院などの理学療法士としてはもちろん、大学の教員・研究員として活躍し、世界的に注目されている人材も少なくありません。

作業療法学講座

日々の暮らしは、着替えや食事などの日常生活を維持する活動、職業や家事・育児・学業などの仕事に関する活動、遊びや余暇活動、これらによって営まれています。疾病や障害は生活に支障をもたらすことがありますが、これらの活動のありようによって個人の生活の質、健康な生活、社会参加の内容が大きく変わります。作業療法学講座では、障害の予防・改善を先端リハビリテーション科学によって担う高度医療専門職としての作業療法士の育成に向けた臨床教育を行うと共に、日本と世界の作業療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざしています。

●**作業療法学講座** 生活を科学する作業療法は「適応の科学」と言われ、病や障害により日々の暮らしに支障を来している人々へ、自律した生活に適応できる能

力の発達・回復・開発・維持を援助します。生活への適応困難は、生理機能、運動機能、認知機能、社会的機能などの要因のいずれか、もしくは複数の要因が重なって生じます。そうした問題を分析でき、対策を立案できる作業療法士の育成のため、作業療法学講座では、適応機能の改善・回復を効果的に実践するための作業活動の特性を学び、対象者個々のニーズにあわせた作業を段階づける知識・技術を獲得すると共に、作業分析法、評価法、援助法などを身につけていきます。また、作業療法は高度先進医療を補完する治療・援助技法としても注目されており、作業療法学講座が進める研究成果を臨床で実践する人材の育成もめざしています。さらに大学院(医学研究科人間健康科学専攻)では脳波、経頭蓋磁気刺激法、近赤外線分光



法、自律神経機能測定、神経心理学的検査などの手法で得られる客観的指標を研究に取り組み、京都大学医学部附属病院と連携しながら、高度な臨床専門職と教育・研究職を養成しています。

総合医療科学コース

総合医療科学コースは、専門性に応じて以下の3つの講座と11の分野からなり、4年次では各研究室に所属し、卒業研究に取り組みます。

●**基礎系医療科学講座** 病気を理解するためには生命の基本原理を知り、生命を統合的に把握する力が重要です。これを念頭に基礎系医療科学講座ではヒト疾患の原因や病態を学び、治療の予後予測に必要な不可欠な生体情報を多角的に解析しつつ全体を俯瞰できる総合的医療研究者の育成をめざします。あわせてヒトをふくむ生命と生物原理を理解し、現代医療の多様な問題を解決できる研究者・教育者の育成もめざします。

●**臨床系医療科学講座** 生体から得た情報を臨床の

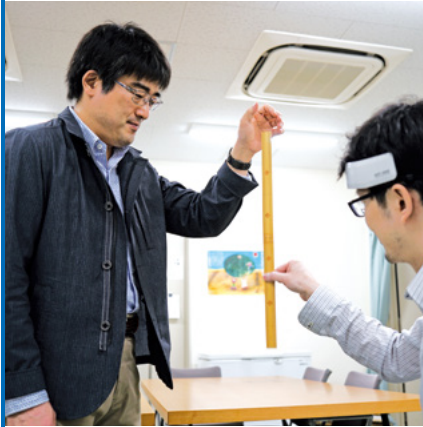
診断や治療に応用すること、移植医療・再生医療・遺伝子治療などの先進医療技術の展開に寄与すること、これらを目的に、その基礎となる理論や技術に関する教育・研究を行います。あわせて臨床の多様な問題の解決に向けて、積極的・機動的に対応できる能力を備えた人材の育成をめざします。

●**理工系医療科学講座** 先進医療を支える生体医療情報解析や医療画像診断の技術を進化させるには、医学・理学・工学の融合分野の研究を牽引する人材が必要です。そのため理工系医療科学講座では医療系の大学では他に先駆けて推進してきた本格的な情報理工学の研究・教育をベースに、先端医療機器システ



ムや医療・介護支援技術の開発など、近未来の社会が医学・医療に求める多様な分野において、グローバルに活躍できる人材の育成をめざします。

だれもが自分らしく生きる 手助けを。科学と実践の 両輪で作業療法は花開く



大学院医学研究科
稲富 宏之 教授

精神科の病気に統合失調症やうつ病があります。こうした病気を抱えると、普通にできていた日常生活や学業、仕事がつまみなくなり、社会への参加が難しくなる「生活のしづらさ」が窺えるようになります。作業療法士は、こうした方がたが家事や仕事、趣味もふくめた「自分らしい」生活に復帰できるよう、治療や支援をする医療専門職。日常生活に必要な身体動作の訓練はもちろん、対人交流の不安を解消する練習など、心理的な面から社会への適応を支援することも重要な役割です。

精神疾患の治療と支援では、対象となるその人自身が大切にしている価値観や興味を重んじることが不可欠です。生き方や趣向は十人十色。対象者の言葉に耳を傾けるだけでなく、言外からも望みを推し量る柔軟さが必要です。AIや機械に代替しえない、人間だけができる仕事だと自負しています。授業ではセルフチェックを取り入れ、画一的な考えと対応に凝り固まっていないう意識してもらいます。さらに、精神疾患を抱える方は孤独になりがちな側面

があります。適切な支援には、人とつながる力の重要性を作業療法士自身が理解することも必須。こうした意識は、授業でくりかえし伝えていきます。

専門性のない、常識的なふるまいばかりだと思われかもしれませんが、どれも「自己の治療的使用」という専門技術にもとづいています。作業療法は、いかにこの技術を駆動させるかが肝心です。合理的に技術を実践できるよう、サイエンスの知見を積み重ねています。たとえば、脳機能の研究室とともにモノづくりをするときの脳と手の関係を研究したり、睡眠研究の研究室と日中のパフォーマンスと眠りとの関係に着目した研究課題を進めています。

臨床現場には、解決すべき課題はまだまだ横たわっています。サイエンスの進歩は、解決の鍵となります。京都大学で作業療法を学ぶ学生には、最先端の知見を駆使し、その鍵を発見する力も期待されています。作業療法と関連科学の知のネットワークのもとで、ともに学びませんか。

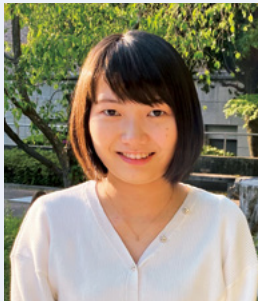
先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻
分子生命基礎医療科学分野 修士課程1回生
2021年3月 医学部人間健康科学科 総合医療科学コース 卒業

発見の絶えない研究室で 興味の追究を続ける日々

私は現在、大学院で分子生物学分野の研究に取り組んでいます。入学当初は、医療専門職に就き、人の役に立ちたいという思いを持っていました。しかし、学部4年間で幅広い知識を得るとともに、誇りをもって研究をされている多くの先生方のもとで学び、研究を通して、病気を治したいという気持ちへと変わり、今に至ります。日々、新たな発見のある研究室生活は有意義で、とても楽しいです。今後も、興味のあることを、とことん追究する気持ちを忘れず、前進していきたいです。



眞鍋 麻彩子さん
兵庫県
兵庫県立神戸高等学校 出身

在校生

医学部 人間健康科学科
先端リハビリテーション科学コース 理学療法学講座
3回生

素晴らしい仲間と先生たち。 刺激と可能性に溢れる環境

私は将来アスリートに関わる仕事をしたいと考えており、そのために人の体について詳しく知りたかったことから、現在は理学療法法の視点から基本的な身体構造や障害の予防・治療を中心に勉強しています。全国から集まったレベルの高い学生、素晴らしい先生方、そして京都大学の「自由の学風」は私たちにさまざまな刺激と無限の可能性を与えてくれます。このように充実した環境はきっと皆さんにも新たな発見や可能性をもたらしてくれることでしょう。



杉崎 滉太さん
三重県
三重県立松阪高等学校 出身

卒業後の進路

※人間健康科学科は、2017年度入学生から新カリキュラムとなりました。2020年度の卒業生には一部旧カリキュラムの学生も含まれます。

■概要

先端看護科学コース 医療機関(病院・保健所・市町村・企業内健康管理部門など)や官公庁、医療関連企業、教育研究機関への就職が多く、大学院進学者は例年10%前後です。

総合医療科学コース 例年60~70%が大学院に進学し、就職先としては医療機関(病院・診療所・保健所など)や教育研究機関の他、製薬等企業・研究所、医療機器メーカー、臨床検査センター、高度先進医療関連施設、科学捜査研究所、医療・保健行政など、多岐にわたります。

理学療法学講座 例年50%近くが大学院に進学し、他は医療機関(大学病院・リハビリテーション専門病

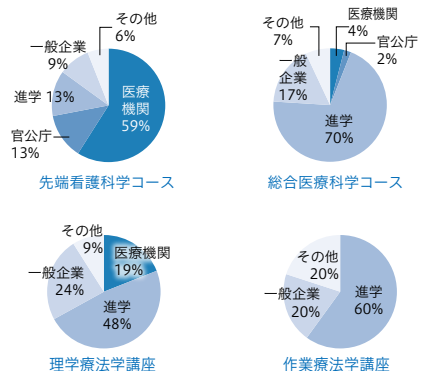
院・一般病院)や行政機関、教育機関、医療関連企業などに就職します。

作業療法学講座 リハビリテーションセンター、国公立病院、私立病院、老人保健施設、児童福祉施設、医療関連企業、行政機関などへの就職が多く、大学院進学者は例年60%前後です。

■取得可能な資格 人間健康科学科の所定の課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者は、厚生労働省が実施する次の国家試験の受験資格が与えられます。

先端看護科学コース…………… 看護師/保健師(選択制)
先端リハビリテーション科学コース(理学療法学講座)理学療法士
先端リハビリテーション科学コース(作業療法学講座)作業療法士
総合医療科学コース…………… 臨床検査技師(選択制)

2020年度 卒業生の状況



薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences

■ 薬科学科[4年制]

■ 薬学科[6年制]

ここに注目

▶ 薬の創造と適正使用のための学びの場

人類の健康に大きく貢献する薬は、現代社会に不可欠です。京都大学の薬学部は、そうした薬を創造・創製し、適正に使用するための学問を行う場です。また、薬の開発は先端的な科学と技術の融合によって成り立っており、京都大学の薬学部では化学系、物理系、生物系、医療系などの幅広い専門知識と医療人としての心を学び、社会に貢献することをめざします。

▶ 目的別に4年制と6年制の2学科を設置 (4年次に学科振分け)

薬学領域は近年の生命科学の進歩と医療の高度化にあわせ、新しい概念に基づく医薬品の創製・発展と医療への貢献に対応できる教育が求められています。世界中の多くの人を救うために医薬品の創製や生産を担う創薬科学研究者・技術者を養成する4年制の「薬科学科」、先端医療や高度医療を支える臨床薬剤師や臨床薬学の研究者・技術者を養成する6年制の「薬学科」、2学科それぞれの目的に則した人材育成を進めています。※学科振分けは本人の希望及び成績に基づいて、4年次進級時に行います。

▶ 約80年の歴史をもつ薬学の教育・研究

京都大学における薬学教育・研究は1939年、医学部薬学科の設置とともに始まりました。さらに、発足時の薬品製造学と薬品分析化学に加え生命科学系の講座等も設置され、総合科学としての薬学の教育・研究体制を整えて、1960年に薬学部として独立しました。その後も、医薬品への社会的な期待を背に、次世代の創薬・医療の羅針盤となる薬学の教育・研究体系を追い求めながら常に発展を続けています。

▶ 創薬・臨床薬学研究のトップリーダー

多くの学生は学部卒業後、大学院薬学研究科に進学します。薬科学科卒業生に向けた薬科学専攻と医薬創成情報科学専攻(修士2年制、博士後期3年制課程)、薬学科卒業生に向けた薬学専攻(博士4年制課程)を設置し、研究能力を高める体制を整えています。薬学領域では、グローバルに活躍できる多くの博士人材の育成が社会から求められており、先端科学研究と社会貢献というトップリーダーに課せられた使命の遂行に努めています。

薬学部の特徴

1 高度な基礎科学力と薬学的応用力の養成

医薬品は、人体に働きその機能を調節することによって疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす物質です。薬学は、この医薬品を創製、生産し、適正に使用することを目指す総合科学であり、物理学、化学、生物学の多岐に渡る基礎科学に立脚しています。京都大学薬学部では、薬学の基礎体系となる学問を徹底的に学び、知識や技能を統合して薬学的に応用する能力を身につけます。

2 主体的な学びと 高いコミュニケーション能力の養成

創薬、医療のいずれにおいても、現場での潜在的な問題を発見し、課題を設定して解決に導くプロセスが必要です。これを実践するためには、主体的かつ論理的に考えて行動する能力が求められます。さらに、チームの能力を高めるためのリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけることも重要です。薬学部では、初年次から能動学習や少人数学習を積極的に授業の中に取り入れて、これらの能力を養う教育を行っています。

3 ミスマッチの少ない 柔軟なキャリアパスの選択

京都大学薬学部は、レイト・スペシャライゼーション(ゆるやかな専門化)に基づき、一般入試入学者は4年次に学科の振分けを行います。すなわち、3年次までに一般教養教育や薬学専門教育を受け、さまざまな角度から薬学についての理解を深め、少しずつ将来のイメージを固めていきます。創薬あるいは臨床薬学のプロフェッショナルになるかを考えて、4年進級時に希望と成績により学科振分けを実施します。

薬学部が望む学生像

京都大学・薬学部は総合科学としての薬学の基礎体系を習得し、創薬と臨床薬学に関わる研究者、教育者、技術者、薬剤師を育成することを目標とし、次のような学生を求めています。

- 1 薬科学科[4年制]の使命は医薬品の創製です。自ら考え、主体的に知識を広げて探求するなど、医薬品を創造するための素質と豊かな心をもつ人を求めています。
- 2 薬学科[6年制]の使命は最適な薬物治療の実現です。医療の進歩と発展を担うための向上心、探求心、そして行動力をもち続けられる人を求めています。

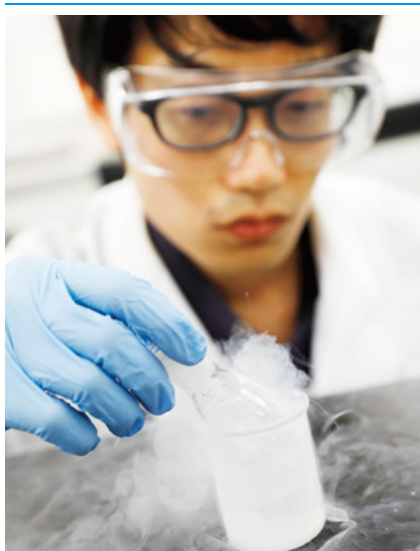
両学科とも卒業後は大学院博士(後期)課程に進学して、トップレベルの薬学領域でグローバルに活躍したいと考えている人を特に求めています。





薬学部研究棟から望む薬学部植物園

独創的・先導的な創薬研究と高度医療を支える臨床薬学。
 それぞれの道のプロフェッショナルをめざして
 人の命とむきあい、生体の謎に迫り、自然の理に目を凝らす



京都大学薬学部を
 もっと知りたい方に・・・
 ■京都大学薬学部・薬学研究科
 入学ガイドブック

➔<https://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/faculty-admission/exam-info/guidebook-fa/>



薬科学科[4年制]

独創的・先導的な創薬研究のプロフェッショナルを養成する

医薬品の設計・合成や生体分子との相互作用に関わる諸問題に対峙し、構造・機能や作用・動態などの側面から研究する総合科学としての薬科学について、その基礎と応用に関する知識と技術を学びます。あわせて4年次には希望する研究室に所属し、最先端研究にふれる特別実習に取り組みます。養成をめざすのは創薬科学の研究者や技術者です。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(修士課程・博士後期課程/計5年間)に進学する卒業生が多いのも薬科学科[4年制]の特徴のひとつです。



薬学科[6年制]

高度医療を支える臨床薬学のプロフェッショナルを養成する

医薬品の適正使用を目的とした総合科学としての薬学にアプローチ、その基礎と応用に関する知識と技術を臨床に則して学びます。4・5・6年次には特別実習、病院実習、調剤薬局実習に取り組みます。養成をめざすのは臨床薬学の研究者・技術者や高度医療を支える薬剤師です(卒業時に薬剤師国家試験受験資格を取得)。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(博士課程/4年間)に進学することも可能です。



薬学部の教育課程

■ 薬科学科[4年制] 主目的

創薬のプロフェッショナル養成

※薬科学科卒業生には薬剤師国家試験受験資格は与えられません。

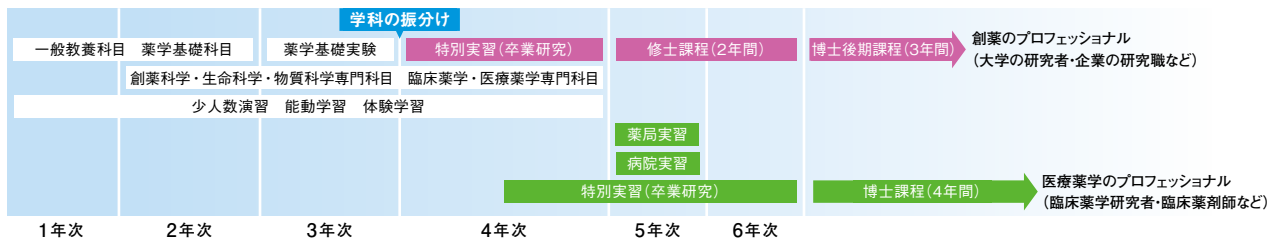
■ 薬学科[6年制] 主目的

臨床薬学のプロフェッショナル養成

※薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。

カリキュラム

■ 薬科学科[4年制] 主目的 / 創薬のプロフェッショナル養成(H30年度入学者からは、薬科学科卒業生に対しては、薬剤師国家試験受験資格は与えられません。)
 ■ 薬 学 科[6年制] 主目的 / 医療薬学のプロフェッショナル養成(薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。)



1・2年次

入学当初1年間は外国語をふくむ教養教育を軸とする全学共通科目を主に履修します。その目的は幅広い分野の学問にふれながら豊かな教養を身につけると共に、高度な専門科目を学ぶための基礎学力と思考力を養うことです。あわせて「薬の世界」入門、基礎物理化学、基礎有機化学などの専門基礎教育、薬学研究SGD演習などの能動型演習科目、基礎科学実験などの基礎実験科目も履修します。2年次では全学共通科目と専門基礎教育科目の科学コミュニケーションの基礎と実践を履修する他、専門教育の科目も履修し、各自の興味、適性、将来展望に応じて、ゆるやかな専門化を目指します。

3年次

薬学の専門知識・実験技術を学ぶための専門教育科目を主に履修します。大学院に連結する高度な専門知識を学ぶ研究基盤教育科目の一部も学びます。また、専門実習はすべて必修科目になっており、薬学のあらゆる専門分野に関する実験技術を習得します。3年次までの学修を通じて、学科および配属研究室を選択し、各自の希望と成績によってそれらが決定されます。

4年次〈薬科学科〉

ほぼ1年間、特別実習を行います。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から創薬科学研究の現況を知り、歩み始めようとする研究者の道を模索します。

4・5・6年次〈薬学科〉

4年次前期は主に午前には講義、午後は医療薬学ワークショップに取り組み、医療薬学分野の全体像を理解します。4年次後期に始まる特別実習は6年次まで続きます。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から医療薬学研究の現況を知り、自身が歩む臨床薬学研究者・薬剤師としての方向性を模索します。あわせて5年次には京都大学医学部附属病院薬剤部と学外の調剤薬局で5か月間の実務実習を行います。この実習では医療における薬剤師の役割と職能を理解するとともに、薬剤業務を実践的に学びます。

来たれ、 学問の世界

医療の鍵を握る薬の研究。 影響力の大きな研究に 挑戦してほしい



「薬理学」
大学院薬学研究科
金子 周司 教授

薬理学は、薬がなぜ効くのか、体内でどんな働きをするのかを研究する分野。私は薬の副作用も研究しています。あえて薬の〈よくない面〉を研究するのは、副作用は創薬にも生かせる貴重な情報だからです。鎮痛剤に使われるアスピリンには胃の粘膜を荒らす副作用がありますが、この症状は胃潰瘍の状態とおなじ。つまりアスピリンを動物に投与すると、胃潰瘍の病態モデルをつくれます。もともと人間で確認された副作用をもとに研究するので、人間に効く薬はなにかを効率的に調べられるのです。「薬理学Ⅰ、Ⅱ」は、そうした薬理学の研究の基礎となる力をつけることをめざします。授業で独自に取り組んでいるのが「反転授業」。あらかじめアップロードした動画で講義を予習してもらい、授業ではいきなりテストをします。京大生の多くは自分の学習スタイルをすでに持っています。めざすべきものを提示すれば勝手に勉強してゆくので、授業では症例をとりあげながら数ある選択肢のなかでベストな答えは

なにかを考え、思考をもう一步深めることに時間をさきます。

薬学という学問は、医療において重要な役割を担います。たとえば薬剤師は薬物治療における「監査役」のような存在。正しい投薬がなされているかを第三者の視点やデータに基づいて冷静にモニターします。もう一つは、やはり薬を開発すること。治療の決定打となるのは、薬があるかどうか。様々な疾患から人類を救ったのは薬の存在です。

副作用というデメリットを活かす発想は、研究者のあいだではほとんど盲点でした。こうした前例のない研究への挑戦は失敗と表裏一体のギャンブルのようなものですが、成功すれば病気に苦しむ何百万もの人を助けられるかもしれません。京都大学は、そうした独創的な分野への挑戦を許容してくれる懐の深い大学です。影響力の大きなこの分野にぜひ飛びこんでみてください。

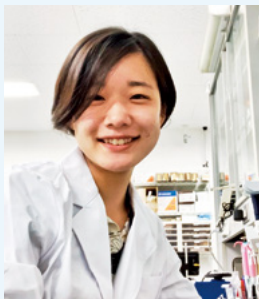
先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

理化学研究所 生命機能科学研究センター
2017年3月 薬学部薬学科 卒業
2021年3月 薬学研究科薬学専攻博士課程 修了

薬の可能性に挑戦したい。 憧れにつづく学びの場

一つの新薬が、何万人もの患者さんを救えるかもしれない！という薬の可能性に憧れ、京都大学薬学部に入りました。学部時代に薬に必要なところに必要な分だけ届ける、Drug Deliveryの考え方と出会い、大学院まで薬品動態に関する研究に没頭しました。やってみたい！と思ったことは何でも、厳しくも愛ある指導でサポートしていただき、恵まれた研究生生活を送ることができました。いつかの憧れを叶えるべく、今も研究所で鋭意研鑽中です。



野村 祥子さん
兵庫県
甲南女子高等学校 出身

在校生

薬学部 3回生

視野を広げながら 薬学と向き合える環境が魅力

私は、多くの命を救う可能性を持つ薬の世界に魅了され、薬学部を志望しました。講義や実習を通して高校生の時にはわからなかった薬学の幅広さや奥深さを知り、興味のある分野も見えてきました。将来は自分の力が発揮できる分野で何か功績を残したいと考えています。学科にとらわれず視野を広げながら薬学と向き合えることが京大薬学部の魅力です。薬学の面白さを見つけられる素晴らしい環境が京大にはあると思います！！



鈴木 崇英さん
京都府
洛星高等学校 出身

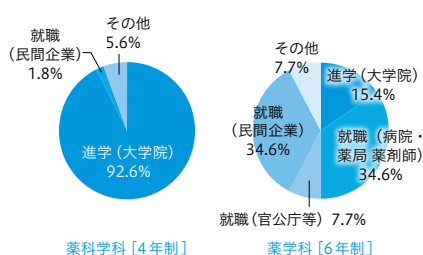
卒業後の進路

薬科学科 [4年制]

■概要 卒業生のうち、9割以上が修士課程へ進学し、修士課程を修了した学生の2~3割が博士後期課程に進学します。修士課程修了者は8~9割が製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、幅広い分野の企業にも就職します。博士後期課程修了者の就職先も修士課程と同様ですが、国内外の研究機関や国公私立大学にも就職するのが特徴です。

■就職先の例(修士課程修了者) アステラス製薬(株)/小野薬品工業(株)/サンスター(株)/塩野義製薬(株)/第一三共(株)/中外製薬(株)/大日本住友製薬(株)/日本新薬(株) など

2020年度 卒業生の状況



薬学部 [6年制]

■概要 卒業生のうち、1~2割が博士課程に進学します。学部卒業生はその多くが製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、1~3割が薬剤師として医療機関に就職します。4年間の博士課程修了者の就職先も学部卒業生と同様ですが、国内外の研究機関や国公私立大学にも就職するのが特徴です。

■取得可能な資格 薬学部(6年制)の卒業見込みの者および卒業生には、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。

■就職先の例 京都大学医学部附属病院/京都市/独立行政法人医薬品医療機器総合機構/アステラス製薬(株) など

工学部

Faculty of ENGINEERING

- 地球工学科
- 建築学科
- 物理工学科
- 電気電子工学科
- 情報学科
- 工業化学科

ここに注目

▶ 地球社会の持続的な発展を担う

学問の本質は〈真理〉の探究です。そうした学問領域のひとつである工学は、人びとの生活に深く関わるテーマを扱っており、地球や社会の持続可能な発展や文化・文明の創造という人類の課題に責任を負っています。京都大学の工学部は、こうした考え方に立脚した教育・研究を行っており、確かな基礎学力、高度な専門能力、正しい倫理観、豊かな個性、これらを兼ね備えた人材の育成をめざしています。

▶ 自由の学風と学問の基礎を重視

京都大学が誇る〈自由の学風〉は、既存概念や他者の言動にとらわれず、あらゆる事象の本質を自分自身の耳目手足で確かめ、科学的に理解することに基づいています。そのため京都大学工学部では、ともに学ぶ研究者や学生に自身を律する厳しさを求めています。また、工学は応用を主にすると思われがちですが、京都大学の工学部では、基礎となる学理をしっかりと体得することが、将来の幅広い応用につながるかと考えています。

▶ 京都大学最大の学部

京都大学・工学部の歴史は、京都帝国大学が創設された明治30(1897)年6月の3か月後、分科大学のひとつとして理工科大学が開校されたことから始まります。以来120年間、工学部はつねに次代を見つめた拡充と整備を続け、京都大学最大の学部を発展しています。

▶ 工学の全領域をカバーする6学科

京都大学工学部は大学院重点化にともない、1993年以降、細分化されていた23学科を工業化学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、地球工学科、建築学科に改組し、6学科が有機的に連携しながら、工学分野のほとんどをカバーする教育・研究体制を整えています。また、大学院工学研究科(主に桂キャンパス)・情報学研究科・エネルギー科学研究科・地球環境学堂(吉田キャンパス)の各研究室が、工学部4年次の特別研究(卒業研究)の場ともなっています。

工学部の特徴

1 伸び幅のある思考力と実践力の養成

京都大学の工学部は、学生が特定分野の専門知識を修得するだけでなく、幅広い視点から科学・技術の発展を見通し、新たなフィールドを開拓・創造していける人材を育てたいと考えています。そのため6学科すべてにおいて基礎教育を重視し、伸び幅のある思考力と実践力を養います。

2 柔軟な創造力を育む柔軟な学び

地球工学科、建築学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、工業化学科、それぞれが育成をめざす研究・開発・技術系人材には、柔軟な創造力が必要不可欠です。それを前提に各学科がカリキュラムに共通性や相互の融通性をもたせ、幅広く柔軟な学習ができるようにしています。あわせて必要に応じ、他学科や他学部の専門科目が履修できるようにもしています。

3 全学共通科目の履修に注力

京都大学の工学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学びます。この全学共通科目には、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報科学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群などの多様な科目があります。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人としての視野を広げます。

4 高度な専門科目への段階的な移行

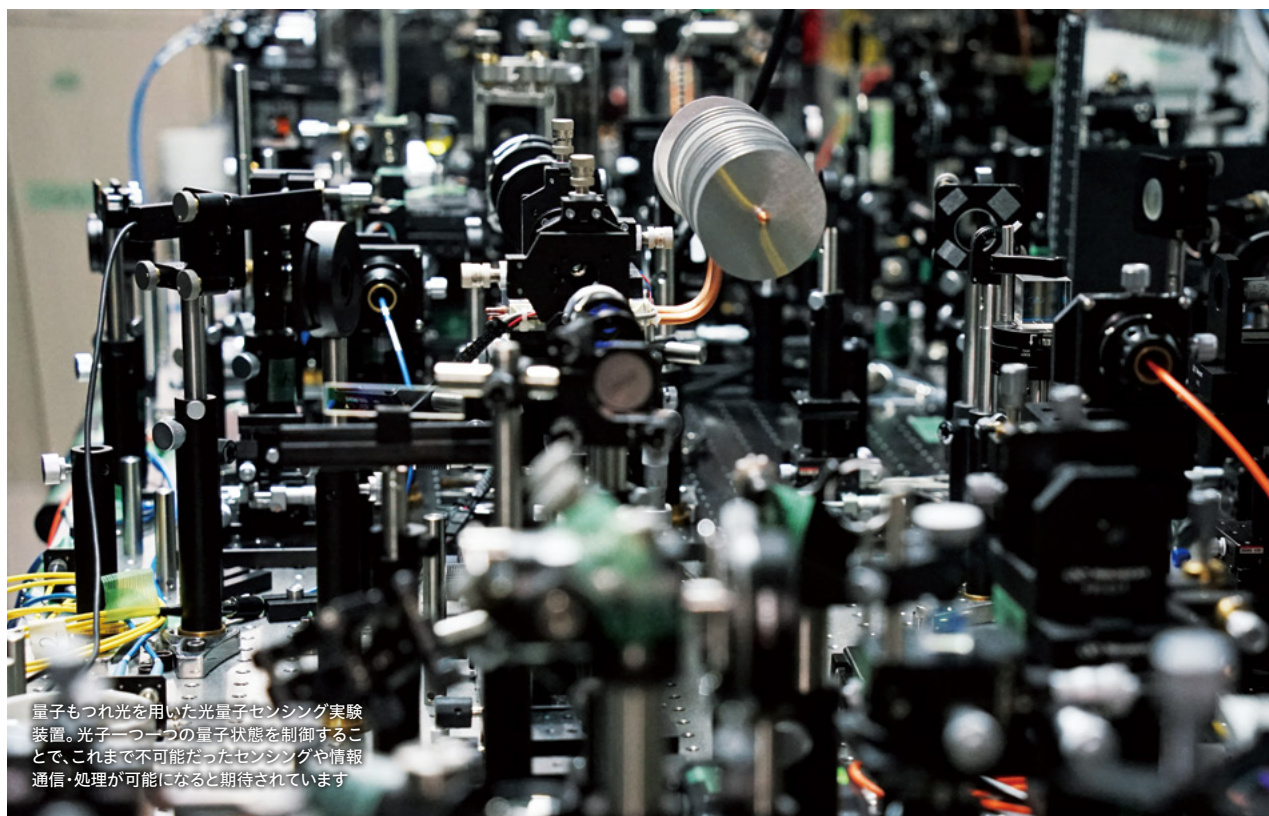
京都大学の工学部では概ね全学科が1年次から専門基礎科目を学び始め、2年次では同科目の履修が主になります。あわせて2年次から専門科目を学び始め、3年次では同科目の履修が主になります。こうして段階的に、学びを高度な専門科目に移行することで、強固な基礎を柔軟に応用するための知力・能力を着実に培います。

5 卒業に向けた創造的な研究活動

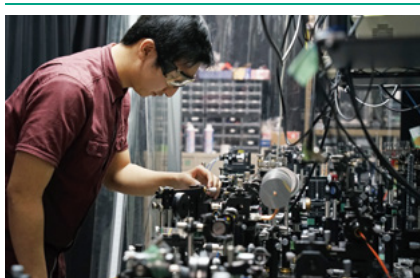
4年次で行う「特別研究(卒業研究)」では、担当教員の指導・助言を受けながら各自が定めたテーマに関する専門的な研究に取組み、その結果を学士論文にまとめます。この間、学生は各研究室に所属し、教員や大学院生を交えた議論を重ねつつ、創造的な研究活動を体得します。

工学部が望む学生像

- 高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
- 既存概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと確かめ、得られた情報や知識を整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
- 日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身につけるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
- 創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティーに満ちた人。



学理をしっかり体得し、
 自身の目で確かめて、納得ゆくまで突き詰める。
 強固な土台の上こそ独創性は華ひらく



6学科の紹介

地球工学科

地球の合理的な開発・保全

地球工学は、文明を支える資源・エネルギー、持続的に社会を支えるインフラの発展、そして人類が自然と共生するために必要な環境の維持など、諸技術体系とその融合分野で構成されます。多岐にわたる科学技術を総合的に理解する見識を養う教育をめざし、「Think Globally and Act Locally」を理念に掲げ、地球全体の合理的な開発・保全と人類の持続可能な発展を支える高度な研究や実務を遂行できる能力を養っています。国際的技術者の育成に必要な、すべての講義が英語で行われる「国際コース」も設置されています。

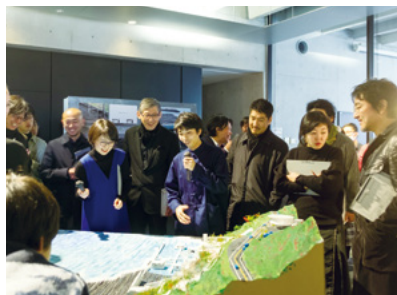


PM2.5などの屋内侵入率測定実験

建築学科

ヒューマンな技術を学ぶ

人間の生活環境を構成する建築は、安全で健康にして快適な生活を発展させる基盤であり、多様な技術を総合して創造されます。建築は人間生活のあらゆる面に深く密接にかかわるヒューマンな技術といえます。建築学科では、自然科学だけでなく、人文・社会科学や芸術に深い関心をもつ学生もひとしく歓迎し、その才能を伸ばす教育を行います。卒業後の進路も、建築家、建築技術者、建築行政担当者、大学や企業の研究者、コンサルタント、プランナーなど、実に多様です。



設計演習講評会

物理工学科

新技術の創造人材の養成

21世紀を起点とする次代に向けて、物理学分野には新たなシステムや材料、エネルギー源の開発などに加え、宇宙空間の利用といった課題解決への期待が寄せられています。こうしたニーズに応える新技術を創造するには、基礎的学問を十二分に修得する必要があるという観点から「物理工学科」では、基礎重視の教育・研究を進めています。さらに機械システム学、材料科学、宇宙基礎工学、原子核工学、エネルギー応用工学の5コースが連携し、高い専門的能力と広い視野を持つ人材を育成します。



クリーンルームでの微細加工実験

電気電子工学科

産業や生活基盤を支える科学技術を

電気電子工学は、現代社会のあらゆる産業や社会インフラに不可欠な科学技術を支えるだけでなく、21世紀を豊かにするための重要な役割を担っています。そのため電気電子工学科では、幅広い領域におよぶ総合的な知識と高い専門性に加え、複眼的な視野や卓越した独創性、倫理観を備えた人材の育成をめざしています。カリキュラムは基礎学習のあと、各自が志望にあわせて専門科目を履修します。こうした4年の学びを通して最先端の科学技術を理解しながら、電気電子工学の発展が担える知識と技術を身につけます。



2年次での実習

情報学科

複雑なシステムの問題を解決

社会の高度情報化にともない、多様な分野に現れる数理モデルの解析や、複雑な情報システムを通じて収集される膨大なビッグデータの分析や活用が必要とされています。そのためにはシステムの機能はもとより、そこに流れる「情報」の本質を究明し、それに基づいて効率的なデザインを行うための思考力が重要になってきます。「情報学科」では、実世界に現れる複雑なシステムの諸問題を数理的アプローチにより解決するとともに、計算機のハードウェア、システム・ソフトウェア、情報システムを設計・活用できる人材となることをめざして学びます。

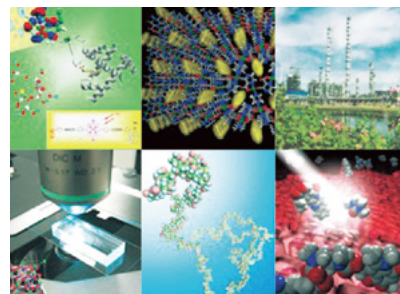


システム工学実験の様子(3年次)

工業化学科

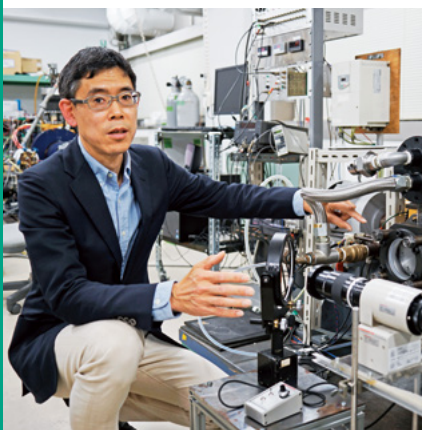
最先端科学技術の基盤を担う

化学は、さまざまな物質をつくる反応とそのプロセス、物質がもつ機能や物性を対象とする学問であり、人びとの豊かな生活を支えています。「工業化学科」では、このような化学分野で活躍できる人材を育成しています。1年次で語学を含めた基礎科目を幅広く学んだのち、2年次からは工業化学科の専門基礎科目を学びます。2年次後期には「創成化学」、「先端化学」、「化学プロセス工学」の3コースに分かれて、より専門的な学習をスタートし、4年次には研究室に所属して卒業研究を行います。



工業化学科での最先端化学の研究

「燃える」を究めて 社会に貢献。夢みる情熱こそ 探究の原動力



大学院エネルギー科学研究科
川那辺 洋 教授

人類は太古から火を用いてきましたが、その熱エネルギーを動力に変換することで文明は大きく発展しました。身近なものだと自動車。ガソリンが燃えるエネルギーを動力に変換しています。「燃える」というと単純に思えますが、その実態はじつに複雑。ゆらゆら揺れるろうそくの炎も、エンジンの中の爆発も、おなじ「燃焼」という現象です。私の研究する燃焼科学では、ものが燃えるメカニズムを理解することで、効率よく動力を取り出す方法を探求しています。

高校でも熱力学は習いますが、「熱効率」の視点が工学としての第一歩。熱エネルギーを効率的に利用するには、どの燃料を、どう燃やせばよいのかを考えます。現在の社会が求めるのは、少ない燃料で動力が得られ、かつ排出CO₂を最小にする技術。効率という視点を身につけることで、環境問題などの課題に貢献できるのです。

効率を高めるには燃焼という現象の原理的な探究が欠かせません。エンジン内部の爆発の様子を高速撮影すると、同心円状に広がる爆発の外縁は不規則な凸凹型

をしています。この形状が燃焼速度を左右するのですが、燃料濃度や流動の不均一な分布に起因するためにコントロールするのが難しい。この複雑な現象を紐解くには、流体力学や化学、統計学など、様々な知識を駆使して「燃える」ということに迫る必要があります。燃焼は複雑さに満ちていて、思ったとおりにならないもの。エンジン内部をモデル化し、分析しても、すぐに想定外のことが顔をだします。煙に巻かれるような作業ですが、試行錯誤を繰り返して前進した知識こそがよりよい技術に貢献できる。そんな知的探求がなによりの醍醐味です。

大学での学びでたいせつなのは「おもしろい!」と思う気持ち。熱力学や材料工学などの知識があれば、自動車はつくれるでしょう。でもその車は魅力的でしょうか。なによりもまず「こんな車がつくりたい!」、「あったらおもしろい!」という情熱があつてこそ、実現するための知識が活きる。探究の原動力となる好奇心を存分に育ててください。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 修士課程1回生
2021年3月 工学部地球工学科 卒業

「木を見て森も見る」ことのできる学部です!

京大工学部では、専門領域に特化するだけでなく、より広い視野で物事を捉えようとする姿勢が強く求められます。入学当初からあらゆる学問の素養を身につけることが要求されるため、慣れないうちはとても大変でした。でもそのおかげで、専門性を追いつつ大局を見失うことのない、学問に対するバランス感覚を身につけることができました。“specialist”、“generalist”の両方になれる、それが京大工学部の魅力です!



佐々木 克哉さん
岐阜県
岐阜県立可児高等学校 出身

卒業生

京都大学大学院情報学研究科 システム科学専攻 修士課程1回生
2021年3月 工学部情報学科(数理工学コース) 卒業

個性をいかして自分の興味に どんどんチャレンジ!

「自由の学風」にあこがれて入学した京都大学は、一切縛られることなく個々のセンスを光らせることができる学びの場でした。工学部情報学科では、コンピュータで情報を扱うための技術や数学を中心に勉強します。さらに進んで、アプリ制作やゲーム開発にチャレンジしている人もいます。コンピュータやデータ、アプリやゲームの開発に興味のある人、ぜひ情報学科にチャレンジしてみてください。きっと自分の興味に打ち込めます!

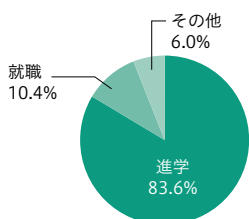


内藤 雅博さん
愛知県
愛知県立一宮西高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 工学部では例年9割近くの学生が、学科の学びが直結する本学の工学研究科、エネルギー科学研究科、情報学研究科などの大学院(修士課程)に進学します。その後も博士課程に進み、大学等の研究・教育職をめざす者も少なくありませんが、専門分野と密に関連する企業などの求めに応え、研究・開発・技術職に就くという進路も広がっています。

2020年度 卒業生の状況



■取得可能な資格 在学中に所定の科目を修得することにより、測量士、建築士、電気主任技術者、無線従事者、危険物取扱者、ボイラー取扱主任者などの資格取得に向けた学科試験の全科目、または一部が免除されます(卒業後一定の実務期間を経ることで受験資格が得られる資格もあります)。



農学部

Faculty of Agriculture

- 資源生物科学科
- 地域環境工学科
- 森林科学科
- 応用生命科学科
- 食料・環境経済学科
- 食品生物科学科

ここに注目

▶ 先端学問としての農学

農学と聞いても、「農業」というイメージしか浮かばないかもしれません。しかし、今日の農学は「生命・食料・環境」というキーワードで表わされる総合的な学問へと変貌しています。まず、農学は、生命に関する総合科学です。実際に、農学では、微生物(ウイルス、細菌、酵母、カビなど)、植物(穀物、草本植物、樹木など)、動物(昆虫類、魚類、家畜など)などさまざまな生物を取り扱っています。また、バイオテクノロジー、遺伝子組換え、バイオマスなども重要なキーワードになっています。

▶ 農学部への誘い

現在、京大農学部は、6学科体制で、今日の農学のほぼ全域で、教育と研究を展開しています。今日の農学は、明日の農学に向けて日々進化しています。みなさん、京大農学部で、明日の農学に向けてチャレンジしてみませんか。

▶ 持続的社会的構築へむけて

今日の農学は、分子・細胞・個体レベルから生態系・地域レベルまで広範囲にわたって、人類の健康で文化的生活の持続に大きな使命を果たしています。とくに、地球規模で食料と栄養の確保は深刻な問題です。そのために、農学が果たすべき役割は大きく、農林水産業や食品関連産業の新技术の開発に注力するとともに、農業経済や農業経営などの社会的なアプローチも行っています。これについては、農業のハイテク化、農業用ロボット、植物工場、品種改良、食品と健康、植物生産の新技术、フードシステムなど数々のキーワードを挙げることができます。さらに、人類の生活基盤を揺るがす環境問題(陸域や海洋汚染、森林破壊など)は、農林水産業の生産基盤を脅かすだけでなく、農林水産業が原因となることもあります。そのため、環境問題に対する取り組みは二重の意味で農学の重要な使命の一つとなります。

農学部の特徴 専門知識の習得と広い視野の育成

1 6学科を準備

農学部は、高い倫理性を前提として、農学に関連する知識とそれに基づく能力、すなわち(1)人類が直面する課題への科学的解決法を構想する能力、(2)農林水産業及び食品・生命科学関連産業の発展に寄与する能力、(3)生命・食料・環境に関わる世界水準の研究を理解する能力を身につけた人材を育てることを目的としています。6学科を設置し、本学の特徴である自由の学風を尊重しながら、総合的にこれらの目的の達成に取り組んでいます。

人間社会は、地球上の動植物や微生物などさまざまな生物と共存し、それらを利用しています。生物の持続可能な利用のためには、生命の仕組みや生態系の動態についての広く深い理解が欠かせません。また、人間活動との調整のためには、工学的な技術や社会科学からの分析も必要になります。各学科で求められる専門知識の基礎をしっかりと身につけながら、幅広い分野に興味をもち視野を広げることが求められます。

2 学びを始める:第1年次

農学部では入学時に学ぶ学科が決まります。各学科のカリキュラム(授業計画)は、教養科目と専門科目がクサビ状に組み合わせられて構成されています。

第1学年では、全学共通科目を重点に幅広い学識を養うことを目的とします。たとえば、自然科学、人文・社会科学、語学などの基礎教養科目を履修します。保健・体育科目や英語で学ぶ科目を加えるなどして自分のカリキュラムをつくります。

3 学びを高める:第2・3年次

第2学年の後期(秋から冬)になると、専門科目の割合が増えます。農学部の専門科目では、講義に加えて実験、実習、演習が重視され、技術・手法に関する密度の高い教育が実施されます。農学部は京都大学のなかでも海外への関心が高く、毎年、多くの学生が外国への留学に挑戦します。

第3学年は専門科目の受講に専念します。同時に研究分野(研究室)への分属という大きな選択をする時期です。分野訪問などで情報を収集しながら、将来の方向を考えた講義の選択が求められます。

4 学びを結びつなぐ:第4年次

第4学年では、研究分野に分かれて課題研究(卒業研究)に取り組み、卒業論文を仕上げます。教員の指導や助言を受けながら、演習や大学院生との交流をとおして未知の分野の研究に取り組む、研究者としての最初のステップです。所定の単位を修得した学生は、学士(農学)の学位を取得して卒業します。さらに研究を深めようと志す多くの学生が大学院へ進学します。

農学部が望む学生像

農学部では、21世紀の重要課題である「生命・食料・環境」に関わる様々な複合的な問題に、生物学、化学、物理学、社会科学などの多様な基礎知識をベースに、総合的な観点から立ち向かいます。本学部は、それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科ごとに異なる高度な専門教育を実施することにより、国際的な広い視野と高度な専門知識をもち、高い倫理性と強い責任感をもち、主体的に行動でき、コミュニケーション能力に長けた多様で優れた人材を養成することを目的としています。この観点から、各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲をもち、応用力と適応力、ならびに、それぞれの専門教育に必要な学力を有する学生を求めています。



地球規模に広がる研究・教育の場(中央上/フランスの大規模放牧畜産)、有機農産物のフードシステム(右/日本の小規模な有機JAS米の圃場、左/パリのビオ専門マルシェ)、中央下/植物工場に貢献する技術開発

生命・食料・環境



6学科の紹介

資源生物科学科

資源生物の有効利用に向けて 多面的な研究に取り組む

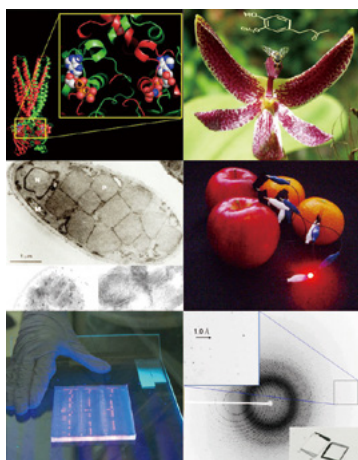
「資源生物科学科」は陸地や海洋に生育・生息する資源生物の生産性と品質の向上について、環境との調和をはかりつつ追求するための教育・研究を行っています。あわせて資源生物を対象に、外敵や病気から守る技術の開発、成育・生息に好ましい環境を持続的に保全する方策の探究、有用物質や遺伝子の有効な利用法の考察、これまで生産が見込めなかった劣悪な環境で育つ新品種の創出など、基礎から応用に至る研究を多面的に行っています。



応用生命科学科

生物資源の生産・加工・利用・保全を 化学的・生物学的に探求する

「応用生命科学科」は、微生物、植物、動物など生物の生命現象や機能を化学、生物学、生化学、物理学、生理学、分子生物学の立場から深く探求・理解すること(バイオサイエンス)をめざしています。さらにその成果を農・医薬品、食品、化成品をはじめとする生活に有益な物質の高度な生産や利用に応用する(バイオテクノロジー)ための教育と先端的研究を進めています。



地域環境工学科

環境と調和した食料生産をはじめ 豊かな21世紀社会の構築をめざす

「地域環境工学科」は、環境と調和した効率的な食料生産、地球全域をふくむ環境・エネルギー問題の解決、環境共生型農村社会の創造をターゲットに工学的な技術をつloorとする教育・研究を行っています。具体的には、水循環の制御による水資源の合理的な利用、農業水利施設の効率的な維持管理と更新、生態系と調和した水・土壌環境の実現、農村計画と住民主体の地域づくり、持続的食料生産に向けてのエネルギーの変換・利用、植物工場、精密農業、農畜水産業のロボット化および生物センシングなどが挙げられ、さまざまな研究をとおりて豊かな21世紀社会を構築していきます。



食料・環境経済学科

人々の生活に関連深い食料問題と 環境問題に関する教育・研究を行う

「食料・環境経済学科」では、私たちの生活に最も関連の深い食料問題と環境問題に関する教育・研究を行っています。また、これらの問題を国内だけでなく世界的な次元で捉え、途上国の貧困問題、人口問題、技術の開発普及、農林水産物の貿易問題が内包する食品安全性、さらに農山漁村の社会経済生活などに関する研究も進めています。その際、有限な地球環境資源の保全と両立する持続可能な資源循環型社会の在り方についても視野・視点を広げ、学際的かつ総合的に取り組んでいるのも「食料・環境経済学科」の特色です。



森林科学科

森林の科学的な教育・研究により 自然保護と豊かな社会の共存をめざす

森林には樹木をはじめ、多様な動植物や菌類による生態系があり、私たちの生活に欠かせない木材や紙となる木質資源を供給すると同時に、災害防止や気候維持などの環境保全機能も担っています。「森林科学科」では、自然保護と豊かな社会との共存に向けて、森林とそのバイオマス資源を対象とする教育・研究を行っています。生態系、生物多様性、管理と生産、緑地工学、地球環境化学、材料工学、有機化学、分子生物学、細胞生物学、バイオマスエネルギー、社会科学的方法のアプローチなど、多様な教育・研究テーマを用意しています。



食品生物科学科

生命科学研究を基盤として より良い食品を開発する

「食品生物科学科」は、生化学、有機化学、物理化学および分子生物学を基盤とする生命科学の観点から教育・研究を行っています。〈食〉に関するさまざまな課題に対して科学的な解決法を提示できるように「実験科学」を重視し、①食品に関する最先端の研究を通じて生物・生命現象を解明すること、②生物・人間を深く研究して、人間にとってより良い食品を創製すること、③食品の効率的な生産に寄与する技術を開発することのできる人材を育成することをめざしています。



来たれ、
学問の世界

一枚の葉に潜む
深遠な学問の世界。
光合成が握る課題解決のヒント



大学院農学研究科
伊福 健太郎 教授

「食糧危機やエネルギー問題を解決する鍵は植物にある」。高校生のころの直感に導かれて農学の道に進んで以来、光合成の研究を続けています。光合成とは光を吸収して水を分解し酸素を発生させ、二酸化炭素を有機物として固定する反応。植物の生命活動を担う一方で、光を浴びすぎると有害な活性酸素が生まれるなど、実はリスクもある行為。活性酸素を過剰に溜め込まないよう、植物は光の量にあわせて分子レベルで光合成をコントロールしています。とても複雑で高度な営みですが、その仕組みを解明すれば光合成の効率を最大化でき、作物の収穫量を増やすことができます。食糧危機などの世界的な課題を解決するヒントが光合成には秘められているのです。

小学校でも習う光合成ですが、授業ではこれまで学んだ知識をベースにさらに踏み込んだ知識へと誘います。知っているつもりも光合成も、葉緑体内での電子伝達の流れに酸化還元電位の視点を加えて説明すると、はじめてその仕組みが腑に落ちる学生は多い。くわえて、高校の教科書に

載っている光合成は主に陸上の植物のもの。光合成の核心に迫るには、地球上の二酸化炭素固定の半分を担う海中の藻類についての理解も欠かせません。最新の知見を紹介したり、パネルや模型を用いたり工夫しながら、光合成の奥深さを伝えていきます。

農学研究は多種多様な分野の研究者と協働できるのが醍醐味です。光合成ひとつをとっても、生態学や生理学、生化学や分子生物学などアプローチの仕方はさまざま。光エネルギーや電子の動きを突きつめると物理学の領域にもつながります。一枚の葉でも掘り下げれば深遠な世界につながるのが大学での学問。存分に究めるには、自分の目で確かめるまでは信じないという姿勢が大切です。その独立心があってこそ、京大での学びが生きてきます。大学の門をくぐった以上は「この分野で一番詳しいのは自分だ」というプロ意識を持つくらいがちょうどいい。その好奇心に応えられる環境があなたを待っています。

先輩が教える
京都大学の魅力

卒業生

株式会社クボタ
2020年3月 農学研究科
地域環境科学専攻(農業システム工学分野) 修士課程 修了

京都の自然をたゆたいながら
導いた私の将来

自由で明るい学風と、自然豊かな京都での学生生活に惹かれ、京都大学に入学しました。大学では農業の機械化や車両の走行性能について学び、現在は農業機械の開発に携わる仕事をしています。ゼミや学会を通して得た、研究への取り組み姿勢や情報発信力をはじめとし、個性豊かな学友と過ごした日々や、将来についてじっくりと考えた時間は、今の私の大きな糧となっています。みなさんも、京都大学でのびのびと学び、爽り多い学生生活を送ってみませんか。



大住 理紗さん
京都府
同志社高等学校 出身

在校生

農学部 食料・環境経済学科
3年生

日々、挑戦中。
たしかな成長を実感

世界の格差問題に関心があり、本学科に入学しました。入学後は広く途上国における持続可能な発展に携わりたいと思い、現在、タイに留学し、現地の状況を肌で感じながら、タイの貧困・格差問題、そして、環境問題について学んでいます。主体性を重視し、留学や共同研究などさまざまなことに挑戦できる環境なので、日々、ポテンシャルがどんどん広がっていくワクワク感を感じながら充実した生活を送ることができています。

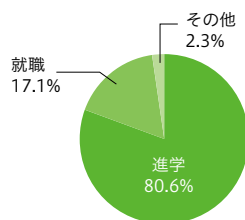


岡村 早良香さん
大阪府
桃山学院高等学校 出身

卒業後の進路

■概要 農学部では例年8割前後の学生が大学院に進学します。また、就職先は官公庁、公的研究機関、化学・食品等の製造業、バイオテクノロジー関連産業などはもちろん、商社や金融・保険業からコンピュータ関連まで、年々幅広くなっており、多くの卒業生が公務員や研究・開発職、あるいは総合職として、各界で活躍しています。

2020年度 卒業生の状況



- 就職先の例 富士通(株)/任天堂(株)/伊藤忠商事(株)/住友商事(株)/(株)キーエンス/鹿島建設(株)/トヨタホーム(株)/(株)三井住友銀行/PwCあらた有限責任監査法人/東宝(株)/関西テレビ放送(株)/大和証券(株)/ライオン(株)/オリックス(株)/(株)ニトリ/(株)SHIFT/三井住友海上火災保険(株)/西日本旅客鉄道(株)/京都大学/総務省/経済産業省/林野庁 など
- 取得可能な資格 農学部では教育職員免許状の取得を目的とした教職課程のほか、食品衛生管理者・食品衛生監視員、測量士補、樹木医補といった資格の取得・認定に向けた教育課程を設けています。
- 取得可能な教育職員免許の種類と教科
森林科学科……………中学校一種「理科」、高等学校一種「理科」※1
食料・環境経済学科……………高等学校一種「農業」※2

※1 森林科学科以外の学科に入学した学生も、森林科学科における所要資格を満たせば取得可能です。
※2 食料・環境経済学科以外の学科に入学した学生も、食料・環境経済学科における所要資格を満たせば取得可能です。